

モーセの**第四**の**書** **通称** **民数記**

¹主*は、彼らがエジプトの地から出た後の第二年の第二の月の最初の日、シナイの荒野にある会見の天幕でモーセに語って言われた。

²「イスラエルの子らの全会衆について、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがって、すべての男子を一人一人数えなさい。

³二十歳以上で、イスラエルにおいて軍務につくことのできるすべての者を数えなさい。あなたとアロンは、その部隊ごとに彼らを数えなさい。

⁴あなたがたとともに、各部族から一人ずつ、その父祖の家の長である者を立ち会わせなさい。

⁵あなたがたとともに立つ者たちの名は次のとおりである。

ルベンからは、シェデウルの子エリツル。

⁶シメオンからは、ツリシャダイの子シェルミエル。

⁷ユダからは、アミナダブの子ナフション。

⁸イッサカルからは、ツアルの子ネタネル。

⁹ゼブルンからは、ヘロンの子エリアブ。

¹⁰ヨセフの子らのうち、エフライムからは、アミフデの子エリシャマ。マナセからは、ペダツルの子ガマリエル。

¹¹ベニヤミンからは、ギデオニの子アビダン。

¹²ダンからは、アミシャダイの子アヒエゼル。

* **1:11:1** すべて大文字の「主」または「神」はヘブル語のיהוה（ヤハウェ）から来てい

13 アシエルからは、オ克蘭の子パギエル。

14 ガドからは、デウエルの子エリアサフ。

15 ナフタリからは、エナンの子アヒラ。」

16 これらは会衆の中から召し出された者たちであり、彼らの父祖の部族の指導者たち[†]であつた。

彼らはイスラエルの千人の部隊の長たちであつた。

17 モーセとアロンは、名指しされたこれらの者たちを連れて行つた。

18 彼らは第二の月の最初の日に全会衆を呼び集めた。そして彼らは、氏族ごと、父の家ごとに、二十歳以上の者たちの姓名の数にしたがって、一人一人、その系統を登録した。

19 主がモーセに命じられたとおりに、彼はシナイの荒野で彼らを数えた。

20 イスラエルの長子であるルベンの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、一人一人、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての男子が登録された。

21 ルベンの部族から数えられた者は、四万六千五百人であつた。

22 シメオンの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、一人一人、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての男子が登録された。

23 シメオンの部族から数えられた者は、五万九千三百人であつた。

24 ガドの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての者が登録された。

25 ガドの部族から数えられた者は、四万五千六百五十人であつた。

[†] 1:16 1:16 または、首長たち、長たち。

26 ユダの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての者が登録された。

27 ユダの部族から数えられた者は、七万四千六百人であった。

28 イッサカルの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての者が登録された。

29 イッサカルの部族から数えられた者は、五万四千四百人であった。

30 ゼブルンの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての者が登録された。

31 ゼブルンの部族から数えられた者は、五万七千四百人であった。

32 ヨセフの子らのうち、エフライムの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての者が登録された。

33 エフライムの部族から数えられた者は、四万五百人であった。

34 マナセの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての者が登録された。

35 マナセの部族から数えられた者は、三万二千二百人であった。

36 ベニヤミンの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての者が登録された。

37 ベニヤミンの部族から数えられた者は、三万五千四百人であった。

38 ダンの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての者が登録された。

39 ダンの部族から数えられた者は、六万二千七百人であった。

40 アシエルの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての者が登録された。

41 アシエルの部族から数えられた者は、四万一千五百人であった。

42 ナフタリの子らの子孫は、その氏族ごと、父の家ごとに、姓名の数にしたがい、二十歳以上で軍務につくことのできるすべての者が登録された。

43 ナフタリの部族から数えられた者は、五万三千四百人であった。

44 以上は数えられた者たちであり、モーセとアロン、およびイスラエルの長である十二人の者たちが数えた。彼らはそれぞれ自分の父の家を代表する者であった。

45 こうして、イスラエルの子らの中で、二十歳以上でイスラエルにおいて軍務につくことのできるすべての者が、父の家ごとに数えられたが、

46 その数えられた者の総数は、六十万三千五百五十人であった。

47 しかし、レビ人は彼らの父祖の部族にしたがって、彼らの中に数えられなかった。

48 主はモーセに語って言われていたからである。

49 「レビの部族だけは数えてはならず、イスラエルの子らの中で彼らの人口調査を行ってはならない。

50 むしろ、あかしの幕屋、そのすべての器具、およびそれに属するすべてのものの上にレビ人を任命しなさい。彼らは幕屋とそのすべての器具を運び、それに仕え、幕屋の周りに宿営しなければならない。

51 幕屋が進み出るときには、レビ人がそれを降ろさなければならない。幕屋を設営するときには、レビ人がそれを建てなければならない。近づく部外者は死刑に処されなければならない。

52 イスラエルの子らは、それぞれ自分の宿営、それぞれ自分の旗印のもとに、部隊ごとに天幕を張らなければならない。

53 しかし、イスラエルの子らの会衆に激しい怒りが下ることのないように、レビ人はあかしの幕屋の周りに宿営しなければならない。レビ人はあかしの幕屋の務めを守らなければならない。」

54 イスラエルの子らはそのように行った。主がモーセに命じられたすべてのことと全く同じように、彼らは行った。

2

1 主はモーセとアロンに語って言われた。

2 「イスラエルの子らは、それぞれ自分の旗のもと、父祖の家の旗印のもとに宿営しなければならない。彼らは会見の天幕の周りに、それから離れて宿営しなければならない。

3 「東側、すなわち日の出る方角に宿営する者は、その部隊にしたがって、ユダの宿営の旗の者とする。ユダの子らの長は、アミナダブの子ナフションである。

4 彼の部隊で、数えられた者は七万四千六百人であった。

5 「彼の隣に宿営する者は、イッサカルの部族とする。イッサカルの子らの長は、ツアルの子ネタネルである。

6 彼の部隊で、数えられた者は五万四千四百人であつた。

7 「ゼブルンの部族。ゼブルンの子らの長は、ヘロンの子エリアブである。

8 彼の部隊で、数えられた者は五万七千四百人であつた。

9 「ユダの宿営で数えられた者の総数は、その部隊にしたがって十八万六千四百人であつた。彼らが先頭に立って出発しなければならない。

10 「南側には、その部隊にしたがってルベンの宿営の旗を置く。ルベンの子らの長は、シェデウルの子エリツルである。

11 彼の部隊で、数えられた者は四万六千五百人であつた。

12 「彼の隣に宿営する者は、シメオンの部族とする。シメオンの子らの長は、ツリシャダイの子シェエルミエルである。

13 彼の部隊で、数えられた者は五万九千三百人であつた。

14 「ガドの部族。ガドの子らの長は、レウエルの子エリアサフである。

15 彼の部隊で、数えられた者は四万五千六百五十人であつた。

16 「ルベンの宿営で数えられた者の総数は、その部隊にしたがって十五万一千四百五十人であつた。彼らが二番目に出発しなければならない。

17 「次に、会見の天幕は、レビ人の宿営とともに宿営群の中央を進んで出発しなければならない。彼らは宿営したのと同じように出発しなければならない。各自が自分の持ち場で、その旗にしたがって進むのである。

18 「西側には、その部隊にしたがってエフライムの宿営の旗を置く。エフライムの子らの長は、アミフデの子エリシャマである。

19 彼の部隊で、数えられた者は四万五百人であった。

20 「彼の隣にはマナセの部族を置く。マナセの子らの長は、ペダツルの子ガマリエルである。

21 彼の部隊で、数えられた者は三万二千二百人であった。

22 「ベニヤミンの部族。ベニヤミンの子らの長は、ギデオニの子アビダンである。

23 彼の部隊で、数えられた者は三万五千四百人であった。

24 「エフライムの宿営で数えられた者の総数は、その部隊にしたがって十万八千百人であった。彼らが三番目に出発しなければならない。

25 「北側には、その部隊にしたがってダンの宿営の旗を置く。ダンの子らの長は、アミシャダイの子アヒエゼルである。

26 彼の部隊で、数えられた者は六万二千七百人であった。

27 「彼の隣に宿営する者は、アシエルの部族とする。アシエルの子らの長は、オ克蘭の子パギエルである。

28 彼の部隊で、数えられた者は四万一千五百人であった。

29 「ナフタリの部族。ナフタリの子らの長は、エナンの子アヒラである。

30 彼の部隊で、数えられた者は五万三千四百人であった。

31 「ダンの宿営で数えられた者の総数は、十五万七千六百人であった。彼らはその旗にしたがって、最後に出発しなければならない。」

³² これらが、父の家ごとに数えられたイスラエルの子らである。部隊ごとに宿営で数えられた者の総数は、六十万三千五百五十人であった。

³³ しかし、主がモーセに命じられたとおり、レビ人はイスラエルの子らの中には数えられなかった。

³⁴ イスラエルの子らはそのように行った。主がモーセに命じられたすべてのことと全く同じように、彼らはその旗のもとに宿営し、それぞれの氏族ごとに、父祖の家にしたがって出発した。

3

¹ 主がシナイ山でモーセと語られた日における、アロンとモーセの系図は次のとおりである。

² アロンの子らの名は次のとおりである。長子はナダブ、次にアビフ、エルアザル、イタマルである。

³ これらはアロンの子らの名であり、彼らは油注がれた祭司たちであり、祭司の務めを果たすために任職された者たちである。

⁴ ナダブとアビフは、シナイの荒野で主の前に異なる火をささげたとき、主の前で死んだ。彼らには子どもがいなかった。エルアザルとイタマルは、その父アロンの前で祭司の務めを果たした。

⁵ 主はモーセに語って言われた。

⁶ 「レビの部族を近づけ、祭司アロンの前に立たせて、彼に仕えさせなさい。

⁷ 彼らは、会見の天幕の前でアロンに対する務めと全会衆に対する務めを守り、幕屋の奉仕をしなければならない。

⁸ 彼らは会見の天幕のすべての器具を守り、イスラエルの子らの務めを守り、幕屋の奉仕をしなければならない。

⁹ あなたはレビ人をアロンとその子らに与えなさい。彼らはイスラエルの子らに代わって、全く彼に与えられた者たちである。

¹⁰ あなたはアロンとその子らを任命し、彼らに祭司職を守らせなさい。近づく部外者は死刑に処されなければならない。」

¹¹ 主はモーセに語って言われた。

¹² 「見よ、わたしは、イスラエルの子らの中で胎を開くすべての長子の代わりに、イスラエルの子らの中からレビ人を取った。レビ人はわたしのものとなる。

¹³ すべての長子はわたしのものだからである。わたしがエジプトの地で長子をすべて打ち殺した日に、人間であれ動物であれ、イスラエルのすべての長子をわたしのために聖別した。彼らはわたしのものとなる。わたしは主である。」

¹⁴ 主はシナイの荒野でモーセに語って言われた。

¹⁵ 「レビの子らを、父の家ごとに、氏族ごとに数えなさい。一か月以上のすべての男子を数えなさい。」

¹⁶ モーセは命じられたとおり、主の言葉にしたがって彼らを数えた。

¹⁷ レビの子らは、その名によれば次のとおりである。ゲルション、ケハテ、メラリである。

¹⁸ 氏族によるゲルションの子らの名は、リブニとシムイである。

¹⁹ 氏族によるケハテの子らは、アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエルである。

²⁰ 氏族によるメラリの子らは、マフリとムシである。

これらが、父祖の家によるレビ人の氏族である。

²¹ ゲルションからはリブニ人の氏族とシムイ人の氏族が出た。これらがゲルション人の氏族である。

22 一か月以上のすべての男子の数にしたがつて数えられた彼らのうちの者は、七千五百人であった。

23 ゲルシオン人の氏族は、幕屋の後ろ、すなわち西側に宿営しなければならない。

24 ゲルシオン人の父祖の家の長は、ラエルの子エルヤサフであった。

25 会見の天幕におけるゲルシオンの子らの任務は、幕屋、天幕、その覆い、会見の天幕の入口の垂れ幕、

26 庭の掛け幕、幕屋と祭壇の周りにある庭の入口の垂れ幕、およびそのすべての奉仕のためのひもであった。

27 ケハテからはアムラム人の氏族、イツハル人の氏族、ヘブロン人の氏族、ウジエル人の氏族が出た。これらがケハテ人の氏族である。

28 一か月以上のすべての男子の数にしたがうと、聖所の務めを守る者は八千六百人であった。

29 ケハテの子らの氏族は、幕屋の南側に宿営しなければならない。

30 ケハテ人の氏族の父祖の家の長は、ウジエルの子エリツアフアンであった。

31 彼らの任務は、箱、机、燭台、祭壇、彼らが奉仕に用いる聖所の器具、垂れ幕、およびそのすべての奉仕であった。

32 祭司アロンの子エルアザルはレビ人の長たちの長であり、聖所の務めを守る者たちの監督であった。

33 メラリからはマフリ人の氏族とムシ人の氏族が出た。これらがメラリの氏族である。

34 彼らのうち数えられた者、すなわち一か月以上のすべての男子の数は、六千二百人であつた。*

35 メラルの氏族の父祖の家の長は、アビハイルの子ツリエルであつた。彼らは幕屋の北側に宿営しなければならない。

36 メラルの子らの割り当てられた任務は、幕屋の板、その横木、その柱、その台座、そのすべての器具、そのすべての奉仕、

37 庭の周囲の柱、その台座、その釘、そのひもであつた。

38 幕屋の前、すなわち東側、会見の天幕の正面の日の出る方角に宿営する者は、モーセ、アロンとその子らであり、彼らはイスラエルの子らの務めとして、聖所の務めを守る者であつた。近づく部外者は死刑に処されなければならない。

39 主の命令によってモーセとアロンが氏族ごとに数えたレビ人のうち、数えられたすべての者、すなわち一か月以上のすべての男子は、二万二千人であつた。

40 主はモーセに言われた。「イスラエルの子らの長子であるすべての男子を、一か月以上から数え、彼らの名前の数を調べなさい。

41 あなたはイスラエルの子らの中のすべての長子の代わりに、わたしのためにレビ人を――わたしは主である――取りなさい。また、イスラエルの子らの家畜のすべての初子の代わりに、レビ人の家畜を取りなさい。」

42 モーセは、主が命じられたとおりに、イスラエルの子らの中のすべての長子を数えた。

* 3:34 3:34 22,000は有効数字2桁に丸められた合計である。上記で挙げられたゲルシヨ

43 名前の数にしたがって一か月以上から数えられたすべての長子である男子は、二万二千二百七十三人であった。

44 主はモーセに語って言われた。

45 「イスラエルの子らの中のすべての長子の代わりにレビ人を、彼らの家畜の代わりにレビ人の家畜を取りなさい。レビ人はわたしのものとなる。わたしは主である。

46 レビ人の数を超えているイスラエルの子らの長子二百七十三人の贖いとして、

47 あなたは一人につき五シェケルずつ取りなさい。聖所のシェケル[†]にしたがってこれらを取りなさい（一シェケルは二十ゲラ[‡]である）。

48 そして、その余剰の者たちが贖われるためのその銀を、アロンとその子らに渡しなさい。」

49 モーセは、レビ人によって贖われた者たちの数を超えた者たちから、贖いの銀を取った。

50 彼はイスラエルの子らの長子からその銀、すなわち聖所のシェケルにしたがって千三百六十五シェケル[§]を取った。

51 モーセは主の言葉にしたがい、主がモーセに命じられたとおりに、その贖いの銀をアロンとその子らに渡した。

4

1 主はモーセとアロンに語って言われた。

2 「レビの子らの中から、ケハテの子らを氏族ごと、父祖の家ごとに数え上げなさい。

[†] 3:47 3:47 1シェケルは約10グラム、または約0.35オンスである。

[‡] 3:47 3:47 1ゲラは約0.5グラム、または約7.7グレーンである。

[§] 3:50 3:50 1シェケルは約10グラム、または約0.35オンスであるため、1365シェケルは

3 三十歳以上から五十歳までの、会見の天幕の仕事をするための奉仕に入るすべての者を数えなさい。

4 「会見の天幕における、最も聖なるものに関するケハテの子らの奉仕は次のとおりである。

5 宿営が進むとき、アロンとその子らは中に入り、仕切りの垂れ幕を取り外し、あかしの箱をそれで覆いなさい。

6 その上にアザラシの皮の覆いを置き、その上に青い布を広げ、その棒を通しなさい。

7 「彼らは臨在のパンの机の上に青い布を広げ、その上に皿、さじ、鉢、および注ぐための杯を置きなさい。また、絶えず供えるパンをその上に置かなければならない。

8 彼らはその上に緋色の布を広げ、アザラシの皮の覆いでそれを覆い、その棒を通しなさい。

9 「彼らは青い布を取り、光のための燭台と、そのともしび、芯切りばさみ、芯取り皿、および奉仕に用いるすべての油の器を覆いなさい。

10 それとすべての器具をアザラシの皮の覆いの中に入れ、担ぎ台の上に載せなさい。

11 「金の祭壇の上に彼らは青い布を広げ、アザラシの皮の覆いでそれを覆い、その棒を通しなさい。

12 「彼らが聖所で奉仕するために用いるすべての奉仕の器具を取り、それらを青い布に入れ、アザラシの皮の覆いで覆い、担ぎ台の上に載せなさい。

13 「祭壇から灰を取り除き、その上に紫の布を広げなさい。

14 その上に、祭壇の奉仕に用いるすべての器具、すなわち火皿、肉刺し、灰取り用のシャベル、鉢など、祭壇のすべての器具を置きなさい。その上にアザラシの皮の覆いを広げ、その棒を通しなさい。

15 「宿営が進むとき、アロンとその子らが聖所と聖所のすべての器具を覆い終わった後、ケハテの子らがそれを担ぐために来なければならない。しかし彼らは、死ぬことのないように、聖所のものに触れてはならない。会見の天幕に属するこれらのものが、ケハテの子らが担ぐ荷である。

16 「祭司アロンの子エルアザルの任務は、光のための油、芳ばしい香、絶えずささげる穀物のささげ物、および注ぎ油であり、幕屋全体と、そこにあるすべてのもの、すなわち聖所とその器具に関する務めである。」

17 主はモーセとアロンに語って言われた。

18 「レビ人の中から、ケハテ人の諸氏族の部族を断ち切ってはならない。

19 彼らが最も聖なるものに近づくとき、死なずに生きるために、彼らに次のようにしなさい。アロンとその子らは中に入り、それぞれにその奉仕とその荷を割り当てなさい。

20 しかし彼らは、一瞬でも聖所を見るために中に入ってはならない。彼らが死なないためである。」

21 主はモーセに語って言われた。

22 「ゲルシヨンの子らについても、父祖の家ごと、氏族ごとに数え上げなさい。

23 三十歳以上から五十歳までの、会見の天幕の仕事をするための奉仕に入るすべての者を数えなさい。

24 「ゲルシヨン人の氏族が奉仕し、荷を担ぐための奉仕は次のとおりである。

25 彼らは幕屋の幕と会見の天幕、その覆い、その上にあるアザラシの皮の覆い、会見の天幕の入口の垂れ幕を運びなさい。

26 また、庭の掛け幕、幕屋と祭壇の周りにある庭の入口の垂れ幕、そのひも、彼らの奉仕のためのすべての器具、およびそれらを用いて行われるすべてのものを運びなさい。彼らはそこで奉仕しなければならない。

27 アロンとその子らの命令によって、ゲルシオン人の子らのすべての奉仕は、そのすべての荷とすべての奉仕において行われなければならない。あなたがたは彼らのすべての担うべき務めを割り当てなさい。

28 これが会見の天幕におけるゲルシオン人の子らの氏族の奉仕である。彼らの任務は、祭司アロンの子イタマルの監督のもとにある。

29 「メラリの子らについては、氏族ごと、父祖の家ごとに彼らを数えなさい。

30 三十歳以上から五十歳までの、会見の天幕の仕事をするための奉仕に入るすべての者を数えなさい。

31 会見の天幕における彼らのすべての奉仕にしたがって、彼らの担う荷の務めは次のとおりである。すなわち、幕屋の板、その横木、その柱、その台座、

32 その周りの庭の柱、その台座、その釘、そのひもと、それらのすべての器具、およびすべての奉仕に用いるものである。あなたがたは彼らの担う荷の務めとなる器具を、名前を挙げて割り当てなさい。

33 これが、祭司アロンの子イタマルの手による、会見の天幕における彼らのすべての奉仕にしたがう、メラリの子らの氏族の奉仕である。」

34 モーセとアロン、および会衆の長たちは、ケハテ人の子らをその氏族ごと、父の家ごとに数えた。

35 三十歳以上から五十歳までの、会見の天幕の仕事のための奉仕に入るすべての者である。

36 氏族ごとに数えられた者は、二千七百五十人であつた。

37 これらは、会見の天幕で奉仕するケハテ人の氏族のうち数えられたすべての者であり、モーセを通しての主の命令にしたがつて、モーセとアロンが数えた者たちである。

38 ゲルシヨンの子らで、氏族ごと、父の家ごとに数えられた者は、

39 三十歳以上から五十歳までの、会見の天幕の仕事のための奉仕に入るすべての者、

40 すなわち、氏族ごと、父の家ごとに数えられた者は、二千六百三十人であつた。

41 これらは、会見の天幕で奉仕するゲルシヨンの子らの氏族のうち数えられたすべての者であり、主の命令にしたがつて、モーセとアロンが数えた者たちである。

42 メラル子らの氏族で、氏族ごと、父の家ごとに数えられた者は、

43 三十歳以上から五十歳までの、会見の天幕の仕事のための奉仕に入るすべての者、

44 すなわち、氏族ごとに数えられた者は、三千二百人であつた。

45 これらは、モーセを通しての主の命令にしたがつて、モーセとアロンが数えたメラリ子らの氏族のうちの数えられた者たちである。

46 モーセとアロン、およびイスラエルの長たちが、レビ人を氏族ごと、父の家ごとに数えたすべての者、

47 三十歳以上から五十歳までの、会見の天幕で奉仕の仕事と荷を担ぐ仕事をするために加わつたすべての者、

48 すなわち数えられた者は、八千五百八十人であった。

49 主の命令にしたがって、彼らはモーセによって、それぞれその奉仕とその荷にしたがって数えられた。主がモーセに命じられたとおりに、彼らはモーセによって数えられた。

5

1 主はモーセに語って言われた。

2 「イスラエルの子らに命じて、すべての規定の病の者、漏出のある者、死者によって汚れた者を宿営から出させなさい。

3 男であれ女であれ、あなたがたは彼らを宿営の外に出さなければならない。わたしがそのただ中に住む彼らの宿営を、彼らが汚さないためである。」

4 イスラエルの子らはそのように行い、彼らを宿営の外に出した。主がモーセに語られたとおりに、イスラエルの子らは行った。

5 主はモーセに語って言われた。

6 「イスラエルの子らに語って言いなさい。
『男であれ女であれ、人が犯すどのような罪でも犯して主に対して背信の罪を犯し、その者が有罪となったなら、

7 その者は自分の犯した罪を告白しなければならない。そして自分の咎の償いを全額支払い、さらにその五分の一を加えて、自分が罪を犯した相手に渡さなければならない。

8 しかし、その人に咎の償いを渡すべき近親者がいないなら、主に渡されるその咎の償いは、彼のために贖罪を行うための贖罪の雄羊とともに、祭司のものとなる。

9 イスラエルの子らが祭司のもとに持って来るすべての聖なるものの持ち上げるささげ物は、祭司のものとなる。

10 それぞれの人の聖なるものは、その人のものとなる。人が祭司に与えるものはすべて、祭司のものとなる。』』

11 主はモーセに語って言われた。

12 「イスラエルの子らに語って言いなさい。『もし、ある人の妻が迷い出て、夫に対して不実を行い、

13 別の男が彼女と肉体的に寝たのに、それが夫の目から隠され、そのことが隠れたままで、彼女が汚され、彼女に対する証人もなく、彼女が現場で捕らえられなかった場合、

14 夫にねたみの霊が臨み、妻に対してねたみを抱き、彼女が実際に汚されていた場合、あるいは、夫にねたみの霊が臨み、妻に対してねたみを抱いたが、彼女が汚されていない場合、

15 その男は妻を祭司のもとに連れて行き、彼女のためのささげ物として、十分の一エバ*の大麦の粉を持って来なければならない。彼はその上に油を注いではならず、乳香を添えてもならない。それはねたみのための穀物のささげ物であり、咎を思い起こさせる記念の穀物のささげ物だからである。

16 祭司は彼女を近づけ、主の前に立たせなさい。

17 祭司は土の器に聖なる水を取り、幕屋の床にあるちりを少し取って、その水の中に入れなさい。

18 祭司はその女を主の前に立たせ、その女の頭の髪をほどき、記念の穀物のささげ物、すなわちねたみのための穀物のささげ物を彼女の両

* 5:15 5:15 一エバは約22リットル、または約3分の2ブッシェルである。

手に置きなさい。祭司は、呪いをもたらす苦い水を自分の手に持ちなさい。

19 祭司は彼女に誓わせ、その女に言いなさい。

『もし他の男があなたと寝たことがなく、あなたが夫の権威の下にありながら迷い出て汚れたことがないなら、呪いをもたらすこの苦い水から免れなさい。』

20 しかし、もしあなたが夫の権威の下にありながら迷い出て、自分を汚し、夫以外の男があなたと寝たのなら——』

21 そのとき、祭司はその女に呪いの誓いを立てさせ、祭司はその女に言いなさい。『主があなたのものを衰えさせ、腹を膨れさせて、あなたをあなたの民の中で呪いと誓いの的とされるように。』

22 呪いをもたらすこの水があなたの内臓に入り、腹を膨れさせ、ももを衰えさせますように。』その女は『アーメン、アーメン』と言いなさい。

23 「『祭司はこれらの呪いを巻物に書き記し、それを苦い水の中に洗い落としなさい。』

24 彼はその女に、呪いをもたらす苦い水を飲ませなさい。すると、呪いをもたらす水は彼女の中に入って苦いものとなる。

25 祭司はその女の手からねたみのための穀物のささげ物を取り、その穀物のささげ物を主の前で揺り動かし、祭壇に持って行きなさい。

26 祭司はその穀物のささげ物から記念の部分として一握りを取り、祭壇の上で燃やしなさい。その後、女にその水を飲ませなさい。

27 彼が彼女にその水を飲ませたとき、次のようになる。もし彼女が汚されており、夫に対して背信の罪を犯していたなら、呪いをもたらす水が彼女の中に入って苦いものとなり、彼

女の腹は膨れ、ももは衰える。その女は自分の民の中で呪いの的となる。

²⁸ しかし、もしその女が汚されておらず、きよいなら、彼女は罰を免れ、子を宿す。[†]

²⁹ 「『これがねたみについての律法である。すなわち、妻が夫の権威の下にありながら迷い出て自分を汚した場合、

³⁰ あるいは、男にねたみの霊が臨み、妻に対してねたみを抱いた場合である。彼はその女を主の前に立たせ、祭司は彼女にこの律法をすべて行いなさい。

³¹ 男は咎を免れ、その女は自分の咎を負う。』」

6

¹ 主はモーセに語って言われた。

² 「イスラエルの子らに語って言いなさい。

『男であれ女であれ、主のために自らを聖別する特別な誓願、すなわちナジル人の誓願を立てる場合、

³ その人はぶどう酒や強い酒を断たなければならない。ぶどう酒の酢や発酵した飲み物の酢を飲んではならず、どんなぶどうの汁も飲んではならない。また、生のぶどうも干しぶどうも食べてはならない。

⁴ 自らを聖別している全期間、種から皮に至るまで、ぶどうの木から作られるものは一切食べてはならない。

⁵ 『自らを聖別する誓願の全期間、主のために自らを聖別する日々が満ちるまで、頭に剃刀を当ててはならない。彼は聖なる者でなければならない。彼は自分の頭の髪の毛を長く伸ばさなければならない。』

[†] 5:28 5:28 または「種」。

6 『主のために自らを聖別している全期間、死体に近づいてはならない。

7 父、母、兄弟、姉妹が死んだときであっても、彼らのために自分を汚してはならない。彼の神*への聖別のしるしが彼の頭にあるからである。

8 自らを聖別している全期間、彼は主にとって聖なる者である。

9 『もしだれかが彼のそばで突然死に、彼が自らを聖別している頭を汚したなら、彼は自分がきよめられる日に頭を剃らなければならない。第七の日にそれを剃らなければならない。

10 第八の日に、彼は二羽の山鳩、または二羽の家鳩の雛を、会見の天幕の入口にいる祭司のもとに持って来なければならない。

11 祭司は一羽を贖罪のささげ物として、もう一羽を全焼のささげ物としてささげ、彼が死者のゆえに罪を犯したことについて彼のために贖罪を行い、その同じ日に彼の頭を聖なるものとしなさい。

12 彼は自らを聖別する日々を主のために改めて始め、代償のささげ物として一歳の雄の子羊を持って来なければならない。しかし、彼の聖別が汚されたため、以前の日々は無効となる。

13 『ナジル人についての律法は次の通りである。自らを聖別する日々が満ちたとき、彼は会見の天幕の入口に連れて来られなければならない。

14 彼は主へのささげ物として、全焼のささげ物のために傷のない一歳の雄の子羊一頭、贖罪のささげ物のために傷のない一歳の雌の子羊一頭、和解のいけにえのために傷のない雄羊一頭をささげ、

* 6:7 6:7 「神」と訳されているヘブル語は「אֱלֹהִים」（エロヒム）である。

15 油を混ぜた上質の小麦粉の種なしの菓子と、油を塗った種なしの薄焼きパンを入れた種なしパンの籠を、それらに伴う穀物のささげ物と飲み物のささげ物とともにささげなさい。

16 祭司はそれらを主の前にささげ、彼の贖罪のささげ物と全焼のささげ物をささげなさい。

17 祭司は種なしパンの籠とともに、主への和解のいけにえのささげ物として雄羊をささげなさい。祭司は、それに伴う穀物のささげ物と飲み物のささげ物もささげなさい。

18 ナジル人は会見の天幕の入口で自らを聖別していた頭を剃り、その聖別の頭の髪を取って、和解のいけにえのささげ物の下にある火の上に置きなさい。

19 祭司は雄羊の煮た肩の肉と、籠の中から種なしの菓子を一つ、種なしの薄焼きパンを一つ取り、ナジル人が自らを聖別していた頭を剃った後で、それらを彼の手の上に置きなさい。

20 祭司は主の前で、それらを揺り動かすささげ物として揺り動かさなさい。これらは、揺り動かされた胸と持ち上げられたももとともに、祭司にとって聖なるものである。その後、ナジル人はぶどう酒を飲んでもよい。

21 『これが、誓願を立てるナジル人と、彼が自らを聖別したことのために主にささげるささげ物についての律法である。これは彼の手に入れられるものに加えてささげるものである。彼が立てる誓願に従って、自らを聖別する律法に従って行わなければならない。』

22 主はモーセに語って言われた。

23 「アロンとその子らに語って言いなさい。『あなたがたはこのようにイスラエルの子らを祝福し、彼らに言いなさい。

- 24 「主があなたを祝福し、あなたを守られるように。
- 25 主が御顔をあなたに輝かせ、
あなたを恵まれるように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、
あなたに平安を与えられるように。」』
- 27 「彼らはわたしの名をイスラエルの子らの上に置く。わたしは彼らを祝福する。」

7

¹ モーセが幕屋を建て終え、それとそのすべての器具に油を注いで聖別し、祭壇とそのすべての器具にも油を注いで聖別したその日に、

² イスラエルの長たち、すなわち彼らの父の家の頭たちがささげ物をした。彼らは部族の長たちであり、数えられた者たちを監督していた者たちであった。

³ 彼らは主の前にささげ物を持って来た。それは覆いのある荷車六台と牛十二頭であり、長たち二人につき荷車一台、一人につき牛一頭であった。彼らはそれらを幕屋の前に差し出した。

⁴ 主はモーセに語って言われた。

⁵ 「会見の天幕の奉仕に用いるために、彼らからこれらを受け取りなさい。そして、それらをレビ人に、それぞれその奉仕に応じて与えなさい。」

⁶ モーセは荷車と牛を受け取り、それらをレビ人に与えた。

⁷ 彼は二台の荷車と四頭の牛を、ゲルシヨンの子らに、その奉仕に応じて与えた。

⁸ 彼は四台の荷車と八頭の牛を、祭司アロンの子イタマルの指揮のもとにあるメラリの子らに、その奉仕に応じて与えた。

9 しかしケハテの子らには何も与えなかった。聖所の奉仕が彼らの務めであり、彼らは肩に担いで運ばなければならなかったからである。

10 祭壇に油が注がれた日に、長たちは祭壇の奉献のためにささげ物をした。長たちは祭壇の前に自分たちのささげ物を差し出した。

11 主はモーセに言われた。「彼らは祭壇の奉献のために、長たちが一日につき一人ずつ、自分のささげ物をささげなければならない。」

12 最初の日に自分のささげ物をささげたのは、ユダの部族の、アミナダブの子ナフションであった。

13 彼のささげ物は、

重さ百三十シェケル*の銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

14 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

15 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

16 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

17 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがアミナダブの子ナフションのささげ物であった。

18 第二の日には、イッサカルの長であるツアルの子ネタネルがささげ物をした。

19 彼は自分のささげ物としてささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

20 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

* 7:13 7:13 一シェケルは約10グラム、または約0.35オンスである。

21 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

22 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

23 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがツアルの子ネタネルのささげ物であった。

24 第三の日には、ゼブルンの子らの長であるヘロンの子エリアブが、

25 自分のささげ物をささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

26 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

27 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

28 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

29 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがヘロンの子エリアブのささげ物であった。

30 第四の日には、ルベンの子らの長であるシェデウルの子エリツルが、

31 自分のささげ物をささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

32 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

33 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

34 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

35 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがシェデウルの子エリツルのささげ物であつた。

36 第五の日には、シメオンの子らの長であるツリシャダイの子シェルミエルが、

37 自分のささげ物をささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

38 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

39 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

40 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

41 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがツリシャダイの子シェルミエルのささげ物であつた。

42 第六の日には、ガドの子らの長であるデウエルの子エリアサフが、

43 自分のささげ物をささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

44 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

45 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

46 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

47 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがデウエルの子エリアサフのささげ物であつた。

48 第七の日には、エフライムの子らの長であるアミフデの子エリシャマが、

49 自分のささげ物をささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

50 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

51 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

52 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

53 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがアミフデの子エリシャマのささげ物であった。

54 第八の日には、マナセの子らの長であるペダツルの子ガマリエルが、

55 自分のささげ物をささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

56 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

57 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

58 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

59 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがペダツルの子ガマリエルのささげ物であった。

60 第九の日には、ベニヤミンの子らの長であるギデオニの子アビダンが、

61 自分のささげ物をささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

⁶² 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

⁶³ 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

⁶⁴ 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

⁶⁵ 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがギデオニの子アビダンのささげ物であった。

⁶⁶ 第十の日には、ダンの子らの長であるアミシャダイの子アヒエゼルが、

⁶⁷ 自分のささげ物をささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

⁶⁸ 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

⁶⁹ 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

⁷⁰ 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

⁷¹ 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがアミシャダイの子アヒエゼルのささげ物であった。

⁷² 第十一の日には、アシエルの子らの長であるオクランの子パギエルが、

⁷³ 自分のささげ物をささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

⁷⁴ 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

75 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

76 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

77 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがオ克兰の子パギエルのささげ物であった。

78 第十二の日には、ナフタリの子らの長であるエナンの子アヒラが、

79 自分のささげ物をささげた。

重さ百三十シェケルの銀の皿一つ、

聖所のシェケルによる七十シェケルの銀の鉢一つであり、これら二つには、穀物のささげ物として油を混ぜた上質の小麦粉が満たされていた。

80 香で満たされた十シェケルの金のさじ一つ。

81 全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭。

82 贖罪のささげ物として、雄山羊一頭。

83 和解のいけにえのささげ物として、牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがエナンの子アヒラのささげ物であった。

84 祭壇に油が注がれた日における、イスラエルの長たちによる祭壇の奉献のささげ物はこれである。すなわち、銀の皿十二、銀の鉢十二、金のさじ十二。

85 銀の皿はそれぞれ百三十シェケル、鉢はそれぞれ七十シェケルであった。器の銀はすべて合わせて、聖所のシェケルにより二千四百シェケルであった。

86 香で満たされた十二の金のさじは、聖所のシェケルによりそれぞれ十シェケルであった。さじの金はすべて合わせて、百二十シェケルであった。

87 全焼のささげ物のための牛はすべて合わせて十二頭、雄羊は十二頭、一歳の雄の子羊は十二頭、お

よびそれらに伴う穀物のささげ物であつた。贖罪のささげ物のための雄山羊は十二頭であつた。

⁸⁸ 和解のいけにえのささげ物のための牛はすべて合わせて二十四頭、雄羊は六十頭、雄山羊は六十頭、一歳の雄の子羊は六十頭であつた。これが祭壇に油が注がれた後の、祭壇の奉献のささげ物であつた。

⁸⁹ モーセが主と語るために会見の天幕に入ったとき、彼は、あかしの箱の上にある贖いの座の上、二つのケルビムの間から、自分に語りかける御声を聞いた。主は彼に語られた。

8

¹ 主はモーセに語って言われた。

² 「アロンに語って言いなさい。『あなたがともしびをともしるとき、七つのともしびは燭台の前面を照らすようにしなければならない。』」

³ アロンはそのように行つた。主がモーセに命じられたとおりに、彼は燭台の前面を照らすようにともしびをともした。

⁴ 燭台の作りは次のようであつた。それは金の打ち出し細工で、その台座から花に至るまで打ち出し細工であつた。主がモーセに示された型に従つて、彼は燭台を作つた。

⁵ 主はモーセに語って言われた。

⁶ 「イスラエルの子らの中からレビ人を取り、彼らをきよめなさい。

⁷ あなたは彼らをきよめるために、このように彼らに行わなければならない。彼らにきよめの水を振りかけ、彼らに全身に剃刀を当てさせ、衣服を洗わせて、自らをきよめさせなさい。

⁸ それから、彼らに若い牛一頭と、それに伴う穀物のささげ物、すなわち油を混ぜた上質の小麦

粉を取らせなさい。またあなたは、贖罪のささげ物として、もう一頭の若い牛を取りなさい。

⁹ あなたはレビ人を会見の天幕の前に連れて来なければならない。また、イスラエルの子らの全会衆を集めなければならない。

¹⁰ あなたはレビ人を主の前に近づけなさい。イスラエルの子らはレビ人の上に手を置かなければならない。

¹¹ アロンはイスラエルの子らを代表して、主の前でレビ人を揺り動かすささげ物としてささげなさい。彼らが主への奉仕を行うためである。

¹² レビ人は二頭の牛の頭に手を置かなければならない。そして、レビ人のために贖罪を行うため、あなたは一頭を贖罪のささげ物として、もう一頭を全焼のささげ物として主にささげなさい。

¹³ あなたはレビ人をアロンとその子らの前に立たせ、彼らを揺り動かすささげ物として主にささげなさい。

¹⁴ このようにして、あなたはイスラエルの子らの中からレビ人をえり分けなさい。レビ人はわたしのものとなる。

¹⁵ 「その後、レビ人は会見の天幕の奉仕を行うために入らなければならない。あなたは彼らをきよめ、揺り動かすささげ物としてささげなければならない。

¹⁶ 彼らはイスラエルの子らの中から、完全にわたしに与えられているからである。わたしは、胎を開くすべての者、すなわちイスラエルの子らのすべての長子の代わりに、彼らをわたしのものとして取った。

¹⁷ イスラエルの子らの長子はみな、人であれ動物であれ、わたしのものだからである。わたしがエジプトの地で長子をすべて打ち殺した日に、わたしは彼らをわたしのために聖別した。

18 わたしは、イスラエルの子らの中のすべての長子の代わりにレビ人を取った。

19 わたしは、イスラエルの子らの中から、レビ人をアロンとその子らへの贈り物として与えた。それは彼らが会見の天幕でイスラエルの子らの奉仕を行い、イスラエルの子らのために贖罪を行うためであり、また、イスラエルの子らが聖所に近づくときに、イスラエルの子らの中に災いが起こらないようにするためである。」

20 モーセとアロン、およびイスラエルの子らの全会衆は、レビ人にそのように行った。主がレビ人についてモーセに命じられたすべてのことと全く同じように、イスラエルの子らは彼らに対して行った。

21 レビ人は罪からきよめられ、衣服を洗った。そしてアロンは彼らを主の前で揺り動かすささげ物としてささげた。アロンは彼らをきよめるために彼らのための贖罪を行った。

22 その後、レビ人は会見の天幕で、アロンとその子らの前で奉仕を行うために入った。主がレビ人についてモーセに命じられたとおりに、彼らはレビ人に対して行った。

23 主はモーセに語って言われた。

24 「レビ人に割り当てられることは次の通りである。二十五歳以上の者は、会見の天幕の働きにおいて奉仕を行うために入らなければならない。

25 五十歳からは、彼らは働きの奉仕から退き、もはや奉仕してはならない。

26 ただし、務めを守るために、会見の天幕で兄弟たちを補佐することはできるが、奉仕の仕事を行ってはならない。あなたはレビ人の務めについて、彼らにこのように行わせなければならない。」

9

¹ エジプトの地から出た後の第二年の第一の月に、主はシナイの荒野でモーセに告げて言われた。

² 「イスラエルの人々に、その定められた時に過越の祭りを守らせなさい。

³ この月の十四日の夕暮れに、あなたがたはその定められた時にそれを守らなければならない。そのすべての掟とすべての定めに従って、それを守らなければならない。」

⁴ モーセはイスラエルの人々に、過越の祭りを守るように語った。

⁵ 彼らは第一の月の十四日の夕暮れに、シナイの荒野で過越の祭りを守った。主がモーセに命じられたすべてのことと全く同じように、イスラエルの人々は行った。

⁶ さて、人間の死体によって汚れ、その日に過越の祭りを守ることができない人たちがいた。彼らはその日、モーセとアロンの前に進み出た。

⁷ その人たちは彼に言った。「私たちは人間の死体によって汚れています。なぜ私たちは、定められた時にイスラエルの人々の中で主へのささげ物をささげることを阻まれなければならないのですか。」

⁸ モーセは彼らに言った。「待っていなさい。主があなたがたについて何を命じられるかを聞いてみよう。」

⁹ 主はモーセに告げて言われた。

¹⁰ 「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『あなたがた、あるいはあなたがたの代々の子孫のうち、だれかが死体によって汚れているか、遠い旅に出ている場合でも、その人は主への過越の祭りを守らなければならない。』

¹¹ 彼らは第二の月の十四日の夕暮れにそれ

を守り、種なしパンと苦菜とともにそれを食べなければならない。

12 朝までそれを少しでも残しておいてはならず、その骨を一本でも折ってはならない。過越の祭りのすべての掟に従って、それを守らなければならない。

13 しかし、きよい人で旅にも出ていないのに過越の祭りを守らない者がいれば、その魂は自分の民の中から断たれなければならない。その人は定められた時に主へのささげ物をささげなかったので、自分の罪を負う。

14 もし寄留者があなたがたの間に住んでおり、主への過越の祭りを守りたいと願うなら、過越の祭りの掟とその定めに従って、そのように行わなければならない。寄留者にも、その地で生まれながらの者にも、あなたがたは一つの同じ掟を持たなければならない。』」

15 幕屋が建てられた日、雲があかしの天幕である幕屋を覆った。夕暮れには、それは幕屋の上にあり、朝まで火のような外観を見せていた。

16 それは常にそのようであった。雲がそれを覆い、夜には火のような外観を見せた。

17 雲が天幕の上から昇るときには、その後でイスラエルの人々は旅立った。雲がとどまる場所で、イスラエルの人々は宿営した。

18 イスラエルの人々は主の命令によって旅立ち、主の命令によって宿営した。雲が幕屋の上にとどまっている間、彼らは宿営し続けた。

19 雲が幕屋の上に何日もとどまるときは、イスラエルの人々は主の務めを守り、旅立たなかった。

20 雲が数日しか幕屋の上になくともあった。そのときも主の命令に従って彼らは宿営し、主の命令に従って旅立った。

21 雲が夕暮れから朝までしかなくともあった。朝になって雲が昇ると、彼らは旅立った。昼であれ夜であれ、雲が昇ると彼らは旅立った。

22 二日であれ、一か月であれ、一年であれ、雲が幕屋の上にとどまっている間は、イスラエルの人々は宿営し続け、旅立たなかった。しかし、それが昇ると彼らは旅立った。

23 彼らは主の命令によって宿営し、主の命令によって旅立った。彼らはモーセを通した主の命令に従って、主の務めを守った。

10

1 主はモーセに告げて言われた。

2 「銀のラッパを二つ作りなさい。それは打ち出し細工で作らなければならない。あなたはそれを、会衆を呼び集めるため、また宿営を旅立たせるために用いなさい。

3 両方が吹き鳴らされると、全会衆は会見の天幕の入口にあるあなたのもとに集まらなければならない。

4 もし一つだけ吹き鳴らされたなら、イスラエルの千人の部隊の長である指導者たちがあなたのもとに集まらなければならない。

5 あなたがたが警告のラッパを吹き鳴らすと、東側に宿営している陣営が旅立たなければならない。

6 二度目に警告のラッパを吹き鳴らすと、南側に宿営している陣営が旅立たなければならない。彼らが旅立つときには、警告のラッパを吹き鳴らさなければならない。

7 しかし、集会を呼び集めるときには、ラッパを吹き鳴らさなければならないが、警告の音を出してはならない。

8 祭司であるアロンの子らが、そのラッパを吹き鳴らさなければならない。これはあなたがたの代々にわたっての永遠の掟となる。

9 あなたがたの地で、あなたがたをしいたげる敵に対して戦いに出るときは、ラッパで警告を吹き鳴らさなければならない。そうすれば、あなたがたはあなたがたの神、主の御前で覚えられ、敵から救われる。

10 「また、あなたがたの喜びの日、定められた祭り、そして月の初めにも、全焼のささげ物と和解のいけにえのささげ物の上でラッパを吹き鳴らさなければならない。それは、あなたがたの神の御前で、あなたがたの記念となる。わたしはあなたがたの神、主である。」

11 第二年の第二の月の二十日に、あかしの幕屋の上から雲が昇った。

12 イスラエルの人々はシナイの荒野を出発して旅立った。そして雲はパランの荒野にとどまった。

13 彼らはモーセを通した主の命令によって、初めて旅立った。

14 先頭に立って旅立ったのは、ユダの子らの宿営の旗であり、その部隊ごとに進んだ。その部隊の長は、アミナダブの子ナフションであった。

15 イッサカルの子らの部族の部隊の長は、ツアルの子ネタネルであった。

16 ゼブルンの子らの部族の部隊の長は、ヘロンの子エリアブであった。

17 幕屋が降ろされると、幕屋を担ぐゲルシヨンの子らとメラリの子らが旅立った。

18 次に、ルベンの宿営の旗が、その部隊ごとに旅立った。その部隊の長は、シェデウルの子エリツルであった。

19 シメオンの子らの部族の部隊の長は、ツリシャダイの子シェルミエルであった。

20 ガドの子らの部族の部隊の長は、デウエルの子エリアサフであった。

21 次にケハテ人が聖所を担いで旅立った。彼らが到着する前に、ほかの者たちが幕屋を建てた。

22 次に、エフライムの子らの宿営の旗が、その部隊ごとに旅立った。その部隊の長は、アミフデの子エリシャマであった。

23 マナセの子らの部族の部隊の長は、ペダツルの子ガマリエルであった。

24 ベニヤミンの子らの部族の部隊の長は、ギデオニの子アビダンであった。

25 すべての宿営のしんがりとして、ダンの子らの宿営の旗が、その部隊ごとに旅立った。その部隊の長は、アミシャダイの子アヒエゼルであった。

26 アシェルの子らの部族の部隊の長は、オ克蘭の子パギエルであった。

27 ナフタリの子らの部族の部隊の長は、エナンの子アヒラであった。

28 これがイスラエルの人々の旅の順序であり、彼らはその部隊ごとに進んだ。

29 モーセは、モーセのしゅうとであるミディアン人レウエルの子ホバブに言った。「私たちは、主が『それをあなたがたに与える』と言われた場所へ向かって旅立とうとしています。私たちと一緒に来てください。私たちはあなたを良く待遇します。主がイスラエルについて良いことを約束しておられるからです。」

30 彼はモーセに言った。「私は行きません。自分の土地、私の親族のところへ帰ります。」

31 モーセは言った。「どうか私たちを離れないでください。あなたは、私たちが荒野のどこで宿営す

べきかを知っており、私たちの目の代わりとなつてくださるからです。

³²もし私たちと一緒に来てくださるなら、主が私たちになさるどんな良いことも、私たちは同じようにあなたにいたします。」

³³彼らは主の山から三日間の道のりを旅立った。主の契約の箱は、彼らの休息の場所を探すために、彼らの先頭に立って三日間の道のりを進んだ。

³⁴彼らが宿営を出発して旅立つとき、昼間は主の雲が彼らの上にあつた。

³⁵箱が出発するとき、モーセは言つた。「主よ、立ち上がってください。あなたの敵が散らされますように。あなたを憎む者たちが、御前から逃げ去りますように。」

³⁶それがとどまるとき、彼は言つた。「主よ、イスラエルの幾千万の民のもとへお帰りください。」

11

¹民は主の耳に届くように不平を言つた。主がそれを聞かれたとき、主の怒りが燃え上がり、主の火が彼らの間で燃え、宿営の端の一部を焼き尽くした。

²民がモーセに叫び求めると、モーセは主に祈り、火は静まつた。

³主の火が彼らの間で燃えたため、その場所の名はタベラと呼ばれた。

⁴彼らの間にいた混血の群衆は、激しい欲求に駆られた。イスラエルの人々もまた泣き出して言つた。「誰が私たちに肉を食べさせてくれるだろうか。」

⁵私たちはエジプトでただで食べていた魚、きゅうり、すいか、にら、玉ねぎ、にんにくを思い出す。

6 しかし今、私たちの魂は干からびてしまった。このマナのほかに、見るものは何もない。」

7 マナはコリアンダーの種のように、その見た目はブデリウムのようにであった。

8 民は歩き回ってそれを集め、ひき臼でひくか、すり鉢でつき、鍋で煮て、パン菓子を作った。その味は新鮮な油の味のようにであった。

9 夜、宿営に露が降りるとき、マナもその上に降った。

10 モーセは、民がその家族ごとに、それぞれ自分の天幕の入口で泣いているのを聞いた。主の怒りは激しく燃え上がり、モーセも不快に思った。

11 モーセは主に言った。「なぜあなたは、あなたのしもべをこのようにひどく扱われるのですか。なぜ私はあなたの御前で恵みを見出せず、このすべての民の重荷を私に負わせられるのですか。」

12 私がこのすべての民を身ごもったのでしょうか。私が彼らを産み出したので、あなたが私に、『乳母が乳飲み子を抱くように、彼らをあなたの胸に抱き、あなたが彼らの父祖たちに誓った地へ連れて行け』と言われるのですか。

13 どこで私は肉を手に入れて、このすべての民に与えることができるのでしょうか。彼らは私の前で泣き、『私たちに肉を与えて食べさせよ』と言うのです。

14 私一人では、このすべての民を背負うことはできません。私には重すぎるからです。

15 もしあなたが私をこのように扱われるのなら、どうか今すぐ私を殺してください。私があなたの御前で恵みを見出しているのなら、私のこの惨めさを見ないで済むようにしてください。」

16 主はモーセに言われた。「イスラエルの長老たちの中から、あなたが民の長老であり、彼ら

の上の役人であることを知っている七十人の者たちをわたしのところに集めなさい。彼らを会見の天幕に連れて来て、そこであなたとともに立たせなさい。

17 わたしはそこに降りて行って、あなたと語る。わたしはあなたの上にある霊の一部を取り、彼らの上に置く。彼らはあなたとともに民の重荷を背負い、あなたが一人で背負うことのないようにする。

18 「民に言いなさい。『明日のために自らをきよめなさい。あなたがたは肉を食べる。あなたがたが主の耳に届くように泣き、「誰が私たちに肉を食べさせてくれるだろうか。エジプトにいたときは良かった」と言ったからである。それゆえ、主はあなたがたに肉を与え、あなたがたは食べる。』

19 あなたがたは一日、二日、五日、十日、あるいは二十日だけ食べるのではない。

20 丸一か月の間、それがあなたがたの鼻からあふれ出て、嫌になるまで食べる。あなたがたが、自分たちの間にいる主を拒み、主の御前で泣いて、「なぜ私たちはエジプトから出てきたのだろうか」と言ったからである。』」

21 モーセは言った。「私と一緒にいる民は、徒歩の男だけで六十万人です。それなのに、あなたは『彼らに肉を与え、丸一か月の間食べさせる』と言われます。

22 彼らに十分なように、羊や牛の群れを屠るというのでしょうか。あるいは、彼らに十分なように、海の魚をすべて集めるというのでしょうか。」

23 主はモーセに言われた。「主の手は短くなったというのか。わたしの言葉があなたに実現するかどうか、今にわかる。」

24 モーセは外に出て、主の言葉を民に告げた。彼は民の長老たちの中から七十人を集め、彼らを天幕の周りに立たせた。

25 主は雲の中に降りて来て、彼に語られた。そして彼の上にある霊の一部を取って、七十人の長老たちに与えた。霊が彼らの上にとどまったとき、彼らは預言したが、それを再び行うことはなかった。

26 しかし、二人の者が宿営に残っていた。一人の名はエルダド、もう一人の名はメダドであった。霊が彼らの上にとどまった。彼らも登録された者たちであったが、天幕には出て行かず、宿営の中で預言した。

27 若者が走って来てモーセに告げて言った。「エルダドとメダドが宿営の中で預言しています！」

28 モーセのしもべであり、選ばれた者たちの一人であるヌンの子ヨシュアが答えて言った。「わが主モーセよ、彼らをやめさせてください！」

29 モーセは彼に言った。「あなたは私のためにねたんでいるのか。主の民がみな預言者となり、主が彼らの上に霊を置いてくださればよいのに！」

30 そしてモーセとイスラエルの長老たちは宿営に戻った。

31 さて、主から風が吹き起こり、海からうずらをもたらし、宿営のそばに落とした。それは宿営の周り、こちら側に約一日の道のり、あちら側にも約一日の道のりの範囲に広がり、地表から約二キュビトの高さにまで及んだ。

32 民はその日一日中、またその夜も、そして次の日も一日中起き出して、うずらを集めた。最も少なく集めた者でも十ホメル*

* 11:32 11:32 1ホメルは約220リットル、または6ブッシェルである。

を集めた。彼らはそれを自分たちのために宿営の周り一面に広げた。

³³ 肉がまだ彼らの歯の間にあり、噛み砕かれる前に、主の怒りが民に向かって燃え上がり、主は非常に大きな疫病で民を打たれた。

³⁴ その場所の名はキブロト・ハタアワ[†]と呼ばれた。そこで彼らは欲望に駆られた民を葬ったからである。

³⁵ 民はキブロト・ハタアワからハツエロトへ旅立ち、ハツエロトにとどまった。

12

¹ ミリアムとアロンは、モーセがめとったクシュ人の女のことでモーセに逆らって語った。彼がクシュ人の女をめとっていたからである。

² 彼らは言った。「主はモーセを通してだけ語られたのだろうか。私たちを通して語られたのではないか。」主はそれを聞かれた。

³ さて、モーセという人は、地の面にいるすべての人にまさって非常にへりくだった人であった。

⁴ 主は突然、モーセとアロンとミリアムに言われた。「あなたがた三人は会見の天幕へ出て来なさい。」三人は出て行った。

⁵ 主は雲の柱の中に降りて来て、天幕の入り口に立ち、アロンとミリアムを呼ばれた。二人が進み出ると、

⁶ 主は言われた。「今、わたしの言葉を聞きなさい。あなたがたの中に預言者がいるなら、主であるわたしは幻の中で自分を彼に知らせ、夢の中で彼と語る。

⁷ わたしのしもべモーセはそうではない。彼はわたしの全家において忠実である。

[†] 11:34 11:34 キブロト・ハタアワは「欲望の墓」を意味する。

⁸ 彼とは、わたしは口と口で、はっきりと語り、謎によっては語らない。彼は主の姿を見る。それなのに、なぜあなたがたはわたしのしもべ、モーセに逆らって語ることを恐れなかったのか。」

⁹ 主の怒りが彼らに向かって燃え上がり、主は去って行かれた。

¹⁰ 雲が天幕の上から離れ去ると、見よ、ミリアムは雪のように白く、規定の病にかかっていた。アロンがミリアムを見ると、見よ、彼女は規定の病にかかっていた。

¹¹ アロンはモーセに言った。「ああ、わが主よ。私たちが愚かに行い、罪を犯したこの罪を、どうか私たちに負わせないでください。

¹² どうか彼女を、母の胎から出たときに肉が半分食い尽くされている死人のようにしないでください。」

¹³ モーセは主に叫び求めて言った。「神よ、どうか彼女を癒やしてください。どうかお願いします。」

¹⁴ 主はモーセに言われた。「もし彼女の父が彼女の顔に唾を吐きかけたなら、彼女は七日間、恥じるべきではないか。彼女を七日間、宿営の外に閉じ込めなさい。その後、彼女は再び連れ戻される。」

¹⁵ ミリアムは七日間、宿営の外に閉じ込められ、民はミリアムが連れ戻されるまで旅立たなかった。

¹⁶ その後、民はハツエロトから旅立ち、パランの荒野で宿営した。

13

¹ 主はモーセに語って言われた。

² 「イスラエルの子らにわたしが与えるカナンの地を偵察させるために、男たちを遣わしなさい。

彼らの父祖の各部族から一人ずつ、すべて彼らの中の長である者を遣わさなければならない。」

³ モーセは主の命令にしたがい、パランの荒野から彼らを遣わした。彼らは皆、イスラエルの子らの頭である者たちであつた。

⁴ 彼らの名は次のとおりである。ルベンの部族からは、ザクルの子シャムア。

⁵ シメオンの部族からは、ホリの子シャファト。

⁶ ユダの部族からは、エフネの子カレブ。

⁷ イッサカルの部族からは、ヨセフの子イグアル。

⁸ エフライムの部族からは、ヌンの子ホシエア。

⁹ ベニヤミンの部族からは、ラフの子パルティ。

¹⁰ ゼブルンの部族からは、ソディの子ガディエル。

¹¹ ヨセフの部族、すなわちマナセの部族からは、スシの子ガディ。

¹² ダンの部族からは、ゲマリの子アミエル。

¹³ アシエルの部族からは、ミカエルの子セトル。

¹⁴ ナフタリの部族からは、ウォフシの子ナフビ。

¹⁵ ガドの部族からは、マキの子ゲウエル。

¹⁶ これらは、モーセがその地を偵察させるために遣わした男たちの名である。モーセはヌンの子ホシエアをヨシユアと呼んだ。

¹⁷ モーセはカナンの地を偵察させるために彼らを遣わし、彼らに言った。「この道を通つて南の地へ上り、山地に上りなさい。

¹⁸ その地がどのようなものか、そこに住む民が強いかわい、少ないか多いかを見なさい。

¹⁹ 彼らが住んでいる地がどのようなものか、良いか悪いかわ、彼らが住んでいる町々がどのようなものか、宿営か要塞かを見なさい。

20 その地がどのようなものか、肥えているか痩せているか、そこに木があるかないかを見なさい。勇気を出し、その地の果実をいくらか持って来なさい。」さて、その時期はぶどうの初なりの季節であった。

21 こうして彼らは上って行き、ツインの荒野からハマトの入り口にあるレホブまで、その地を偵察した。

22 彼らは南の地を通して上り、ヘブロンに来た。そこにはアナクの子らであるアヒマン、シエシャイ、タルマイがいた。（ヘブロンはエジプトのツォアンより七年前に建てられていた。）

23 彼らはエシュコルの谷に来て、そこからぶどうの一房のついた枝を切り取り、二人で棒にかけてそれを担いだ。彼らはざくろといちじくもいくらか持って来た。

24 イスラエルの子らがそこから切り取ったぶどうの房のゆえに、その場所はエシュコルの谷と呼ばれた。

25 彼らは四十日の終わりに、その地の偵察から帰って来た。

26 彼らはパランの荒野のカデシュにいるモーセとアロン、およびイスラエルの子らの全会衆のもとに来て、彼らと全会衆に報告し、その地の果実を彼らに見せた。

27 彼らはモーセに告げて言った。「私たちは、あなたが遣わされた地へ行きました。そこは確かに乳と蜜が流れており、これがその果実です。

28 しかし、その地に住む民は強く、町々は城壁で囲まれて非常に大きく、さらにそこでアナクの子らを見ました。

29 アマレク人は南の地に住み、ヘト人、エブス人、アモリ人は山地に住み、カナン人は海辺とヨ

ルダン川沿いに住んでいます。」

³⁰ カレブはモーセの前で民を静めて言った。

「私たちはすぐに上って行き、そこを所有しましょう。私たちは必ずそれに打ち勝つことができるからです。」

³¹ しかし、彼とともに上って行った男たちは言った。「私たちはあの民に向かって上って行くことはできません。彼らは私たちよりも強いからです。」

³² そして彼らは、偵察した地についてイスラエルの子らに悪い報告をもたらして言った。「私たちが偵察して通り巡った地は、その住民を食い尽くす地です。私たちがそこで見た民は皆、大きな体格の者たちです。」

³³ そこで私たちはネフィリム*、すなわちネフィリムから出たアナクの子らを見ました。私たちの目には、自分たちがいながらのように見えました。彼らの目にもそのように見えたでしょう。」

14

¹ 全会衆は声を上げて叫び、民はその夜、泣いた。

² イスラエルの子らは皆、モーセとアロンに向かってつぶやいた。全会衆は彼らに言った。「私たちはエジプトの地で死んでいればよかったのに！それとも、この荒野で死んでいればよかったのに！

³ なぜ主は私たちをこの地に導き入れて、剣に倒れさせようとされるのか。私たちの妻や幼子たちは捕らえられ、あるいは殺されてしまう。私たちにとって、エジプトに帰るほうが良いではないか。」

⁴ 彼らは互いに言った。「指導者を立てて、エジプトに帰ろう。」

* 13:33 13:33 または、巨人。

5 そこでモーセとアロンは、イスラエルの子らの会衆の全集会の前で顔を伏せた。

6 その地を偵察した者たちのうち、ヌンの子ヨシュアとエフネの子カレブは自分たちの衣を引き裂いた。

7 そしてイスラエルの子らの全会衆に語って言った。「私たちが偵察して通り巡った地は、非常に良い地です。

8 もし主が私たちを喜ばれるなら、私たちをこの地に導き入れ、それを私たちに与えてくださるでしょう。そこは乳と蜜が流れる地です。

9 ただ、主に背いてはなりません。また、その地の民を恐れてはなりません。彼らは私たちのパンだからです。彼らの守りは彼らの上から取り去られており、主が私たちとともにおられます。彼らを恐れてはなりません。」

10 しかし、全会衆は彼らを石で打ち殺そうとした。

主の栄光が会見の天幕でイスラエルのすべての子らに現れた。

11 主はモーセに言われた。「この民はいつまでわたしを侮めるのか。わたしが彼らの間で行ったすべてのしるしにもかかわらず、いつまでわたしを信じないのか。

12 わたしは疫病で彼らを打ち、彼らから相續を取り上げる。そして、彼らよりも大きく、力強い国民をあなたから起こそう。」

13 モーセは主に言った。「それではエジプト人が聞くでしょう。あなたは御力によって、彼らの間からこの民を導き上られたからです。

14 彼らはこの地の住民に告げるでしょう。彼らは、主であるあなたがこの民のただ中におられることを聞いています。主であるあなたは顔と顔を合わ

せて見られ、あなたの雲は彼らの上に立ち、あなたは昼は雲の柱の中に、夜は火の柱の中にいて、彼らの前を進まれるからです。

15 もしあなたがこの民をひとりの人のように殺されるなら、あなたの名声を聞いた国々は語って言うでしょう。

16 『主はこの民を、彼らに誓った地に導き入れることができなかったのだ、彼らを荒野で殺したのだ』と。

17 ですから今、あなたが語られたとおりに、どうか主*の御力を大いなるものとしてください。あなたは言われました。

18 『主は怒るのに遅く、慈しみに富み、咎と背きを赦す。しかし、罰すべき者を決して罰せずにおくことはなく、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼす』と。

19 どうか、あなたの慈しみの大きさに従い、エジプトから今に至るまでこの民を赦してこられたように、この民の咎を赦してください。」

20 主は言われた。「あなたの言葉どおりに、わたしは赦した。

21 しかし、わたしが生きていること、そして全地が主の栄光で満たされることにかけて言う。

22 エジプトや荒野でわたしが行った栄光やしるしを見ながら、このように十度もわたしを試み、わたしの声に聞き従わなかった者たちは皆、

23 わたしが彼らの父祖たちに誓った地を確かに見ることはない。わたしを侮った者たちも、だれ一人それを見ることはない。

24 しかし、わたしのしもべカレブは、彼のうちに別の霊があり、わたしに完全に従ったので、

* 14:17 14:17 「主」と訳された言葉は「アドナイ」である。

彼が行ったその地に彼を導き入れる。彼の子孫はそこを所有する。

²⁵ アマレク人とカナン人は谷に住んでいる。明日、向きを変えて、紅海への道を通して荒野へ出発しなさい。」

²⁶ 主はモーセとアロンに語って言われた。

²⁷ 「わたしに向かってつぶやくこの邪悪な会衆を、わたしはいつまで耐えなければならないのか。イスラエルの子らがわたしに向かってつぶやくのを、わたしは聞いた。

²⁸ 彼らに言いなさい。『わたしは生きている、と主は言われる。あなたがたがわたしの耳に語ったとおりに、わたしは確かにあなたがたに行う。

²⁹ あなたがたの死体はこの荒野に倒れる。あなたがたの総数にしたがって数えられた者のうち、二十歳以上でわたしに向かってつぶやいた者は皆、倒れる。

³⁰ エフネの子カレブとヌンの子ヨシュアを除いて、あなたがたをそこに住まわせるとわたしが誓った地に、あなたがたは決して入ることはできない。

³¹ しかし、捕らえられ、あるいは殺されるとあなたがたが言った幼子たちを、わたしは導き入れる。彼らはあなたがたが拒んだ地を知るようになる。

³² しかし、あなたがたについては、あなたがたの死体はこの荒野に倒れる。

³³ あなたがたの子どもたちは、あなたがたの死体が荒野で朽ち果てるまで、四十年間、荒野で放浪者となり、あなたがたの淫行を負うことになる。

³⁴ あなたがたがその地を偵察した日数、すなわち四十日の間、一日を一年として、四十年間あなたがたは自分の咎を負う。そして、わたしの反感を知るようになる。』

35 主であるわたしは語った。わたしに逆らって集まったこの邪悪な全会衆に、わたしは必ずこれを行う。この荒野で彼らは朽ち果て、そこで死ぬ。」

36 モーセがその地を偵察するために遣わした男たちで、帰って来てその地について悪い報告をもたらした、全会衆をモーセに向かってつぶやかせるようにした者たち、

37 すなわち、その地について悪い報告をもたらしたその男たちは、主の前で災いによって死んだ。

38 しかし、その地を偵察に行った男たちのうち、ヌンの子ヨシュアとエフネの子カレブは生き残った。

39 モーセがこれらの言葉をイスラエルのすべての子らに告げると、民は非常に悲しんだ。

40 彼らは朝早く起き、山頂に上って言った。「見よ、私たちはここにいます。主が約束された場所へ上って行きましょう。私たちは罪を犯したからです。」

41 モーセは言った。「なぜ今、主の命令に背くのですか。それは成功しません。

42 上って行ってはなりません。主はあなたがたのただ中におられないからです。敵の前に打ち倒されてはなりません。

43 そこにはアマレク人とカナン人があなたがたの前にいて、あなたがたは剣に倒れるからです。あなたがたが主に従うことから退いたので、主はあなたがたとともにおられません。」

44 しかし、彼らはあえて山頂に上って行った。それでも、主の契約の箱とモーセは宿営の中から離れなかった。

45 すると、その山に住んでいたアマレク人とカナン人が下って来て、彼らを打ち、ホルマにまで彼らを打ち碎いた。

15

1 主はモーセに語って言われた。

2 「イスラエルの子らに語って言いなさい。『わたしがあなたがたに与える住まいの地に入り、

3 主への火によるささげ物、すなわち全焼のささげ物、いけにえ、誓願を果たすためのもの、自発的なささげ物、あるいはあなたがたの定められた祭りにおいて、牛の群れまたは羊の群れから、主への心地よい香りとしてささげ物をささげるとき、

4 そのささげ物をささげる者は、十分の一エパ^{*}の上質の小麦粉に四分の一ヒン[†]の油を混ぜた穀物のささげ物を主にささげなければならない。

5 あなたは子羊一頭ごとに、全焼のささげ物またはいけにえとともに、飲み物のささげ物として四分の一ヒンのぶどう酒を準備しなければならない。

6 『雄羊の場合は、穀物のささげ物として、三分の一ヒンの油を混ぜた十分の二エパ[‡]の上質の小麦粉を準備しなければならない。

7 飲み物のささげ物として三分の一ヒンのぶどう酒を、主への心地よい香りとしてささげなさい。

8 『全焼のささげ物、いけにえ、誓願を果たすためのもの、あるいは主への和解のいけにえとして若い雄牛を準備するときは、

9 その若い雄牛とともに、二分の一ヒンの油を混ぜた十分の三エパ[§]の上質の小麦粉の穀物のささげ物をささげなければならない。

* 15:4 15:41 エパは約22リットル、または約3分の2ブッシェルである。

† 15:4 15:4 1ヒンは約6.5リットル、または1.7ガロンである。

‡ 15:6 15:61 エパは約22リットル、または約3分の2ブッシェルである。

§ 15:9 15:91 エパは約22リットル、または約3分の2ブッシェルである。

10 飲み物のささげ物として二分の一ヒンのぶどう酒をささげなさい。これは主への心地よい香りのための、火によるささげ物である。

11 『牛一頭ごと、雄羊一頭ごと、あるいは雄の子羊や若い山羊一頭ごとに、このように行わなければならない。

12 あなたがたが準備する数に従い、その数に応じて、それぞれについてこのように行いなさい。

13 『その地で生まれた者は皆、主への心地よい香りのための火によるささげ物をささげるとき、これらのことをこのように行わなければならない。

14 もし寄留者があなたがたとともに外国人として住んでいるなら、あるいはあなたがたの代々にわたってあなたがたの間にいる者が、主への心地よい香りのための火によるささげ物をささげるときは、あなたがたが行うのと同じように彼も行わなければならない。

15 会衆については、あなたがたにも、外国人として住む寄留者にも、一つの掟がある。これはあなたがたの代々にわたって永遠の掟である。あなたがたと同じように、寄留者も主の前にある。

16 あなたがたにも、あなたがたとともに外国人として住む寄留者にも、一つの律法、一つの定めがなければならない。』」

17 主はモーセに語って言われた。

18 「イスラエルの子らに語って言いなさい。『わたしがあなたがたを導き入れる地に入るとき、

19 その地のパンを食べるときには、主への揺り動かすささげ物をささげなければならない。

20 あなたがたは初めの練り粉から、一つの菓子揺り動かすささげ物としてささげなさい。打ち場の揺り動かすささげ物のように、それを持ち上げてささげなければならない。

21 あなたがたは代々にわたって、初めの練り粉から主への揺り動かすささげ物を与えなければならない。

22 『もしあなたがたが誤って、主がモーセに語られたこれらすべての命令を守らず、

23 主がモーセを通してあなたがたに命じられたすべてのこと、すなわち主が命じられた日から後、代々にわたって命じられたことを守らなかった場合、

24 それが会衆の目から隠れて、意図せずに行われたなら、全会衆は定めに従って、主への心地よい香りのための全焼のささげ物として若い雄牛一頭を、その穀物のささげ物と飲み物のささげ物とともにささげ、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなければならない。

25 祭司はイスラエルの子らの全会衆のために贖罪を行いなさい。そうすれば彼らは赦される。それは過ちであり、彼らはその過ちのために、自分たちのささげ物、すなわち主への火によるささげ物と贖罪のささげ物を主の前に持って来たからである。

26 イスラエルの子らの全会衆も、彼らの間に外国人として住む寄留者も赦される。すべての民に関して、それは意図せずに行われたことだからである。

27 『もし一人の人が意図せず to 罪を犯したなら、その人は贖罪のささげ物として一歳の雌山羊をささげなければならない。

28 祭司は、意図せず to 罪を犯して誤った者のために、主の前で贖罪を行いなさい。彼のために贖罪を行えば、彼は赦される。

29 イスラエルの子らの中で生まれた者にも、彼らの間に外国人として住む寄留者にも、意図せず to 事を行う者については、一つの律法がなければならない。

30 『しかし、その地で生まれた者であれ寄留者であれ、高ぶった手で事を行う者は、主を冒涇する者である。その者は自分の民の中から断たれなければならない。

31 彼は主の言葉を侮り、その命令を破ったので、その者は必ず断たれなければならない。その咎は彼の上にある。』」

32 イスラエルの子らが荒野にいたとき、ある男が安息日に薪を集めているのを見つけた。

33 薪を集めているのを見つけた者たちは、彼をモーセとアロン、および全会衆のもとに連れて来た。

34 彼をどのようにすべきか宣言されていなかったなので、彼らはその男を留置しておいた。

35 主はモーセに言われた。「その男は必ず死刑に処されなければならない。全会衆は宿営の外で彼を石で打ち殺しなさい。」

36 全会衆は彼を宿営の外に連れ出し、主がモーセに命じられたとおりに、石で打ち殺した。

37 主はモーセに語って言われた。

38 「イスラエルの子らに語って言いなさい。『彼らが代々にわたって、自分たちの衣服の裾に房^{*}を作り、それぞれの裾の房に青いひもをつけるようにしなさい。

39 それはあなたがたのための房となる。あなたがたがそれを見て、主のすべての命令を思い起こしてそれを行うため、また、あなたがたが追求めて淫行を働いていた自分の心と自分の目に従わないためである。

40 そうしてあなたがたがわたしのすべての命令を思い起こしてそれを行い、あなたがたの神に対して聖なる者となるためである。

* 15:38 15:38 または、房飾り（ヘブル語 פִּזְזִית）。

41 わたしは、あなたがたの神となるためにエジプトの地からあなたがたを導き出した、あなたがたの神、主である。わたしはあなたがたの神、主である。』」

16

1 さて、レビの子ケハテの子イツハルの子コラは、ルベンの子らであるエリアブの子ダタンとアビラム、およびペレトの子オンとともに人々を集めた。

2 彼らはイスラエルの子らの中から、会衆の指導者であり、集会に召された名のある人々二百五十人とともに、モーセの前に立ち上がった。

3 彼らはモーセとアロンに逆らって集まり、彼らに言った。「あなたがたは行き過ぎている。全会衆はみな聖なる者であり、主が彼らのただ中におられるのだから。それなのに、なぜあなたがたは主の集会の上に自分たちを高く上げるのか。」

4 モーセはこれを聞くと、ひれ伏した。

5 彼はコラとその全仲間と言った。「朝になれば、主はだれがご自分のものか、だれが聖なる者かを示し、その者をみもとに近づけられる。主が選ばれる者を、主はみもとに近づけられる。」

6 コラとその全仲間よ、このようにしなさい。あなたがたは香炉を取りなさい。

7 明日、主の前でその中に火を入れ、その上に香を置きなさい。主が選ばれるその人こそが聖なる者となる。レビの子らよ、あなたがたは行き過ぎている！」

8 モーセはコラと言った。「レビの子らよ、今聞きなさい。」

9 イスラエルの神がイスラエルの会衆からあなたがたを分け、みもとに近づけて主の幕屋の奉仕をさ

せ、会衆の前に立たせて彼らに仕えさせてくださったことは、あなたがたにとって小さなことなのか。

10 主はあなたと、あなたとともにいるすべての兄弟たちであるレビの子らを近づけられた。それなのに、あなたがたは祭司の務めまでも求めるのか。

11 それゆえ、あなたとあなたの全仲間は主に逆らって集まったのだ！ アロンが何者だから、あなたがたは彼に向かってつぶやくのか。」

12 モーセはエリアブの子ダタンとアビラムを呼びに人を遣わしたが、彼らは言った。「私たちは上って行かない！

13 あなたが私たちを乳と蜜の流れる地から導き上って、この荒野で殺そうとしていることは、小さなことなのか。そのうえ、あなたは私たちの上で支配者として振舞おうとするのか。

14 しかも、あなたは私たちを乳と蜜の流れる地に導き入れず、畑とぶどう園を相続地として与えてもいない。あなたはこの人たちの目をえぐり出すつもりか。私たちは上って行かない。」

15 モーセは非常に怒り、主に言った。「彼らのさげ物を顧みないでください。私は彼らからろば一頭も取っておらず、彼らのうちのだれにも害を与えていません。」

16 モーセはコラに言った。「明日、あなたとあなたの全仲間は、あなたと彼ら、そしてアロンとともに、主の前に出なさい。

17 各自が自分の香炉を取り、その上に香を置き、各自が自分の香炉を主の前に持って来なさい。二百五十の香炉である。あなたも、アロンも、それぞれ自分の香炉を持って来なさい。」

18 彼らは各自自分の香炉を取り、その中に火を入れ、その上に香を置き、モーセとアロンとともに会見の天幕の入口に立った。

19 コラは、会見の天幕の入口で彼らに向かい合うように、全会衆を集めた。

主の栄光が全会衆に現れた。

20 主はモーセとアロンに語って言われた。

21 「この会衆の間から離れなさい。わたしが一瞬のうちに彼らを滅ぼし尽くすためである！」

22 彼らはひれ伏して言った。「神よ、すべての肉なるものの霊の神よ。一人の人が罪を犯したからといって、あなたは全会衆に向かって怒られるのですか。」

23 主はモーセに語って言われた。

24 「会衆に語って言いなさい。『コラ、ダタン、アビラムの天幕の周りから離れなさい!』」

25 モーセは立ち上がり、ダタンとアビラムのところに行った。イスラエルの長老たちも彼に従った。

26 彼は会衆に語って言った。「どうか、この邪悪な男たちの天幕から離れ、彼らのものにはいい触れないでください。彼らのすべての罪に巻き込まれて滅ぼされないためです！」

27 そこで彼らは、四方からコラ、ダタン、アビラムの天幕から離れた。ダタンとアビラムは出て来て、妻、息子、幼子たちとともに自分たちの天幕の入口に立った。

28 モーセは言った。「これによって、主がこれらすべての事を行うために私を遣わされたこと、これらが私の心から出たのではないことを、あなたがたは知るであろう。

29 もしこの者たちがすべての人の普通の死に方で死ぬか、すべての人が経験することを経験するなら、主は私を遣わされたのではない。

30 しかし、もし主が新しい事をなされ、地面がその口を開いて彼らとそのすべて

の持ち物を飲み込み、彼らが生きたままよみ*
に下るなら、この者たちが主を侮ったことをあなたがたは理解するであろう。」

31 彼がこれらすべての言葉を語り終えると、彼らの下にある地面が裂けた。

32 地はその口を開き、彼らとその家族、コラに属するすべての人々、そしてすべての財産を飲み込んだ。

33 こうして彼らとそのすべての持ち物は生きたままよみに下った。地は彼らの上を閉じ、彼らは集会の中から滅び去った。

34 彼らの周りにいたすべてのイスラエルは、彼らの叫び声を聞いて逃げた。彼らは「地が私たちを飲み込むかもしれない!」と言ったからである。

35 主のもとから火が出て、香をささげた二百五十人を焼き尽くした。

36 主はモーセに語って言われた。

37 「祭司アロンの子エルアザルに、焼け残った中から香炉を取り上げ、その火を宿営から離れた所にまき散らすように言いなさい。それらは聖なるものだからである。」

38 自分自身の命に対して罪を犯したこれらの者たちの香炉は、祭壇を覆うための打ち出し細工の板にきなさい。彼らが主の前にそれらをささげたからである。それゆえ、それらは聖なるものである。それらはイスラエルの子らへのしるしとなる。」

39 祭司エルアザルは、焼かれた者たちがささげた青銅の香炉を取った。人々はそれらを祭壇を覆うために打ち延ばした。

40 それは、アロンの子孫ではない一般の人が、主の前で香をたくために近づき、コラとその仲間のようにならないため、イスラエルの子らへの記念と

* **16:30 16:30** よみは死者の場所である。

なるためであった。主がモーセによって彼に語られたとおりでである。

41 しかし翌日、イスラエルの子らの全会衆はモーセとアロンに向かつてつぶやいて言った。「あなたがたが主の民を殺したのだ！」

42 会衆がモーセとアロンに逆らって集まり、彼らが会見の天幕の方を見たとき、見よ、雲がそれを覆い、主の栄光が現れた。

43 モーセとアロンは会見の天幕の前に来た。

44 主はモーセに語って言われた。

45 「この会衆の間から離れなさい。わたしが一瞬のうちに彼らを滅ぼし尽くすためである！」彼らはひれ伏した。

46 モーセはアロンに言った。「あなたの香炉を取り、祭壇からその中に火を入れ、香を置いて、急いで会衆のところに持って行き、彼らのために贖罪を行いなさい。主のもとから憤りが出ている！ 災いが始まったのだ。」

47 アロンはモーセが言ったようにし、集会の真ん中へ走って行った。見よ、民の間で災いが始まっていた。彼は香を置き、民のために贖罪を行った。

48 彼は死者と生きている者との間に立った。そして災いはとどまった。

49 コラの件で死んだ者たちに加えて、この災いで死んだ者は一万四千七百人であった。

50 災いがとどまったので、アロンは会見の天幕の入口にいるモーセのもとに戻った。

17

1 主はモーセに語って言われた。

2 「イスラエルの子らに語って、彼らから杖を取りなさい。彼らのすべての指導者から、父の家ごとに一本ずつ、父の家に従って十二

本の杖を取りなさい。各々の名をその杖に書き記しなさい。

³ レビの杖にはアロンの名を書き記さなければならぬ。父の家の長ごとに一本の杖がなければならぬからである。

⁴ あなたはそれらを会見の天幕の中、わたしがあなたがたと会うあかしの前に置きなさい。

⁵ わたしが選ぶ人の杖は芽を吹く。こうして、イスラエルの子らがあなたがたに向かってつぶやくそのつぶやきを、わたしからやめさせる。」

⁶ モーセがイスラエルの子らに語ると、すべての指導者たちは父の家に従って、指導者一人につき一本ずつ、合計十二本の杖を彼に渡した。アロンの杖もその杖の中にあった。

⁷ モーセはあかしの天幕で、主の前にそれらの杖を置いた。

⁸ 翌日、モーセがあかしの天幕に入ると、見よ、レビの家のアロンの杖が芽を吹き、つぼみを出し、花を咲かせ、熟したアーモンドを結んでいた。

⁹ モーセはすべての杖を主の前からイスラエルのすべての子らのところに持ち出した。彼らはそれを見て、各々自分の杖を取った。

¹⁰ 主はモーセに言われた。「アロンの杖をあかしの前に戻し、反逆の子らへのしるしとして保管しなさい。こうしてあなたが彼らのわたしに対するつぶやきを終わらせ、彼らが死なないようにするためである。」

¹¹ モーセはそのように行った。主が彼に命じられたとおりに、彼は行った。

¹² イスラエルの子らはモーセに語って言った。「見よ、私たちは死に絶える！ 私たちは滅びる！ 私たちはみな滅びる！

13 主の幕屋に近づき続ける者はみな死ぬのだ！
私たちはみな死に絶えなければならないのか。」

18

1 主はアロンに言われた。「あなたと、あなたとともにいるあなたの子ら、およびあなたの父の家は、聖所に対する咎を負わなければならない。また、あなたと、あなたとともにいるあなたの子らは、祭司の務めに対する咎を負わなければならない。

2 あなたの兄弟たち、すなわちあなたの父の部族であるレビの部族もあなたとともに近づけなさい。彼らがあなたに結びつき、あなたに仕えるためである。しかし、あなたと、あなたとともにいるあなたの子らは、あかしの天幕の前にいなければならない。

3 彼らはあなたの任務と天幕全体の任務を守らなければならない。ただ、彼らもあなたがたも死ぬことのないように、彼らは聖所の器具や祭壇に近づいてはならない。

4 彼らはあなたに結びつき、会見の天幕のすべての奉仕のために、会見の天幕の任務を守らなければならない。一般の人はあなたがたに近づいてはならない。

5 あなたがたは聖所の任務と祭壇の任務を守らなければならない。イスラエルの子らに再び憤りが下らないためである。

6 見よ、わたしはイスラエルの子らの中から、あなたがたの兄弟であるレビ人をえり分けた。彼らは主への贈り物としてあなたがたに与えられた者であり、会見の天幕の奉仕を行うためである。

7 あなたと、あなたとともにいるあなたの子らは、祭壇のすべての事と、垂れ幕の内側の事について、祭司の務めを守らなければならない。あなたが

たは奉仕しなければならない。わたしはあなたがたの祭司の務めを、贈り物としての奉仕として与える。近づく一般の人は死刑に処されなければならない。」

⁸ 主はアロンに語って言われた。「見よ、わたしはわたしの揺り動かすささげ物の管理をあなたに与えた。イスラエルの子らのすべての聖なるものについて、わたしは注ぎ油のゆえに、それらをあなたとあなたの子らに永遠の割り当てとして与えた。

⁹ 火から取られる最も聖なるもののうち、これはあなたのものとなる。すなわち、彼らのすべてのささげ物、すべての穀物のささげ物、すべての贖罪のささげ物、すべての代償のささげ物であり、彼らがわたしにささげるものは、あなたとあなたの子らにとって最も聖なるものである。

¹⁰ あなたはそれを最も聖なるものとして食べなければならない。男子はみな、それを食べることができる。それはあなたにとって聖なるものである。

¹¹ 「これもあなたのものとなる。彼らの贈り物の揺り動かすささげ物、すなわちイスラエルの子らのすべての揺り動かすささげ物である。わたしはこれらを永遠の割り当てとして、あなたと、あなたとともにいる息子たち、娘たちに与えた。あなたの家の中できよい者はだれでもそれを食べることができる。

¹² 「最も良い油すべて、最も良い新しいぶどう酒と穀物すべて、すなわち彼らが主にささげる初穂を、わたしはあなたに与える。

¹³ 彼らの地にある最初の熟した実で、彼らが主のもとに持って来るものはすべてあなたのものとなる。あなたの家できよい者はだれでもそれを食べることができる。

¹⁴ 「イスラエルにおいて、永久にささげられたすべてのものはあなたのものとなる。

15 人であれ動物であれ、彼らが主にささげるすべての肉体のうち、胎を開くものはすべてあなたのものとなる。しかし、人の長子は必ず贖わなければならない。汚れた動物の初子も贖わなければならない。

16 生後一か月以上の贖われるべき者については、あなたの評価に従い、聖所のシェケルによる銀五シェケル*で贖わなければならない。一シェケルは二十ゲラ†である。

17 しかし、牛の初子、羊の初子、あるいは山羊の初子は贖ってはならない。それらは聖なるものである。あなたはその血を祭壇に振りかけ、その脂肪を主への心地よい香りのための火によるささげ物として燃やさなければならない。

18 その肉はあなたのものとなる。揺り動かされた胸と右のももと同じように、それはあなたのものとなる。

19 「イスラエルの子らが主にささげる聖なるもののすべての揺り動かすささげ物を、わたしは永遠の割り当てとして、あなたと、あなたとともにいる息子たち、娘たちに与える。これは、あなたと、あなたとともにいるあなたの子孫のための、主の前における永遠の塩の契約である。」

20 主はアロンに言われた。「あなたは彼らの地で所有地を持つてはならず、彼らの間にあなたの割り当てがあつてはならない。イスラエルの子らの中において、わたしがあなたの割り当てであり、あなたの所有地である。

21 「見よ、わたしはレビの子らに、イスラエルのすべての十分の一を所有地として与えた。それ

* 18:16 18:16 一シェケルは約10グラム、または約0.35オンスである。

† 18:16 18:16 一ゲラは約0.5グラム、または約7.7グレーンである。

は彼らが行う奉仕、すなわち会見の天幕の奉仕への報酬である。

²² 今後、イスラエルの子らは会見の天幕に近づいてはならない。罪を負って死ぬことがないためである。

²³ しかし、レビ人は会見の天幕の奉仕を行い、自らの咎を負わなければならない。これはあなたがたの代々にわたっての永遠の掟となる。彼らはイスラエルの子らの中で所有地を持ってはならない。

²⁴ イスラエルの子らが主への揺り動かすささげ物としてささげる十分の一を、わたしはレビ人に所有地として与えたからである。それゆえ、わたしは彼らに『イスラエルの子らの中で所有地を持ってはならない』と言ったのである。」

²⁵ 主はモーセに語って言われた。

²⁶ 「さらにレビ人に語り、彼らに言いなさい。『わたしがイスラエルの子らからあなたがたの所有地としてあなたがたに与えた十分の一を、あなたがたが彼らから受け取るときは、その十分の一の中から十分の一を、主への揺り動かすささげ物としてささげなければならない。』

²⁷ あなたがたの揺り動かすささげ物は、打ち場からの穀物や、ぶどう搾り場の満ちあふれるもののようになされる。

²⁸ このように、あなたがたも、イスラエルの子らから受け取るすべての十分の一の中から、主への揺り動かすささげ物をささげなければならない。そしてその中から、主への揺り動かすささげ物を祭司アロンに与えなければならない。

²⁹ あなたがたに与えられるすべての贈り物の中から、その最も良い部分すべて、すなわちその聖なる部分から、主へのすべての揺り動かすささげ物をささげなければならない。』

³⁰ 「それゆえ、あなたは彼らに言いなさい。『あ

なたがたがその最も良い部分を持ち上げてささげるとき、それはレビ人にとって、打ち場の産物や、ぶどう搾り場の産物のようにみなされる。

³¹ あなたがたもあなたがたの家族も、あらゆる場所でそれを食べることができる。それは会見の天幕におけるあなたがたの奉仕の報酬だからである。

³² あなたがたがその最も良い部分を持ち上げてささげるなら、そのことによって罪を負うことはない。イスラエルの子らの聖なるものを汚してはならない。死なないためである。』」

19

¹ 主はモーセとアロンに語って言われた。

² 「主が命じられた律法の掟は次のとおりである。イスラエルの子らに、傷がなく、欠陥がなく、まだくびきを置かれたことのない赤い雌牛をあなたのところに持って来るように言いなさい。

³ あなたがたはそれを祭司エルアザルに渡しなさい。彼はそれを宿営の外に引き出し、彼の目の前で屠らせなさい。

⁴ 祭司エルアザルはその血の一部を指に取り、会見の天幕の正面に向かって、その血を七度振りかけなさい。

⁵ その雌牛を彼の目の前で燃やさせなさい。その皮、肉、血を、糞とともに燃やさなければならぬ。

⁶ 祭司は杉の木、ヒソプ、緋色の糸を取り、雌牛を燃やしている中に投げ入れなさい。

⁷ その後、祭司は自分の衣服を洗い、水で体を洗いなさい。その後、彼は宿営に入ることができるが、祭司は夕方まで汚れる。

⁸ それを燃やす者も、自分の衣服を水で洗い、水で体を洗いなさい。彼は夕方まで汚れる。

9 「きよい人が雌牛の灰を集め、それを宿営の外にきよい場所に置きなさい。それはイスラエルの子らの会衆のために、汚れをきよめる水に用いるため保管しておかなければならない。これは贖罪のささげ物である。

10 雌牛の灰を集める者は、自分の衣服を洗いなさい。彼は夕方まで汚れる。これはイスラエルの子らにとって、また彼らの間に滞在する寄留者にとって、永遠の掟となる。

11 「『いかなる人間の死体であれ、それに触れる者は七日間汚れる。』

12 彼は三日目と七日目に、その水で自分自身をきよめなさい。そうすれば彼はきよくなる。しかし、もし彼が三日目と七日目に自分自身をきよめないなら、彼はきよくならない。

13 死んだ人間の死体に触れ、自分自身をきよめない者はだれでも、主の幕屋を汚すのである。その魂はイスラエルから断たれる。汚れをきよめる水が彼に振りかけられなかったので、彼は汚れている。その汚れはなお彼の上にある。

14 「『人が天幕の中で死んだ場合の律法は次のとおりである。その天幕に入るすべての者と、その天幕の中にいるすべての者は、七日間汚れる。』

15 覆いで結ばれていない開いた器はすべて汚れる。

16 野原で、剣で殺された者、死体、人間の骨、あるいは墓に触れる者はだれでも、七日間汚れる。

17 「汚れた者のために、彼らは贖罪のささげ物として燃やされた灰の一部を取り、器の中でそれに流水を加えなさい。

18 きよい人がヒソプを取り、その水に浸し、天幕と、すべての器と、そこにいた人々と、骨、殺さ

れた者、死体、あるいは墓に触れた者にそれを振りかけなさい。

19 きよい人は三日目と七日目に、汚れた者にそれを振りかけなさい。七日目に彼はその人をきよめなさい。その人は自分の衣服を洗い、水で体を洗いなさい。そうすれば夕暮れにきよくなる。

20 しかし、汚れていても自分自身をきよめない者は、その魂が集会の中から断たれる。彼が主の聖所を汚したからである。汚れをきよめる水が彼に振りかけられなかったのである。彼は汚れている。

21 これは彼らにとって永遠の掟となる。汚れをきよめる水を振りかける者は自分の衣服を洗いなさい。汚れをきよめる水に触れる者は夕方まで汚れる。

22 汚れた者が触れるものはすべて汚れ、それに触れる魂は夕方まで汚れる。』』

20

1 イスラエルの子ら、すなわち全会衆は第一の月にツインの荒野に着き、民はカデシュにとどまった。ミリアムはそこで死に、そこに葬られた。

2 会衆のための水がなかった。彼らはモーセとアロンに逆らって集まった。

3 民はモーセと争い、語って言った。「私たちの兄弟たちが主の前で死んだとき、私たちも死んでいけばよかったのに！

4 なぜあなたがたは主の集会をこの荒野に導き入れて、私たちと家畜をここで死なせようとするのか。

5 なぜあなたがたは私たちをエジプトから上らせて、この悪い場所に導き入れたのか。ここは種を蒔く場所でもなく、いちじく、ぶどう、ざくろの場所でもない。その上、飲む水もない。」

⁶ モーセとアロンは集会の前から会見の天幕の入口に行き、ひれ伏した。すると、主の栄光が彼らに現れた。

⁷ 主はモーセに語って言われた。

⁸ 「杖を取りなさい。あなたとあなたの兄弟アロンは会衆を集め、彼らの目の前で岩に語りかけ、それに水を出させなさい。あなたは彼らのために岩から水を出し、会衆とその家畜に飲ませなさい。」

⁹ モーセは命じられたとおりに、主の前から杖を取った。

¹⁰ モーセとアロンは会衆を岩の前に集め、彼らに言った。「反逆する者たちよ、今聞きなさい。私たちはこの岩からあなたがたのために水を出すのか。」

¹¹ モーセは手を上げ、杖で岩を二度打った。すると水が豊かに湧き出し、会衆も家畜も飲んだ。

¹² 主はモーセとアロンに言われた。「あなたがたはわたしを信じず、イスラエルの子らの目の前でわたしを聖なるものとしなかった。それゆえ、あなたがたはこの集会を、わたしが彼らに与えた地に導き入れることはできない。」

¹³ これがメリバ*
の水である。イスラエルの子らが主と争い、主が彼らの中で聖なる者とされたからである。

¹⁴ モーセはカデシュからエドムの王に使いを遣わして言った。「あなたの兄弟イスラエルはこう言います。『あなたは、私たちが遭遇したすべての困難を知っています。』

¹⁵ 私たちの父祖たちはエジプトに下り、私たちは長い間エジプトに住んでいました。エジプト人は私たちと私たちの父祖たちをひどく扱いました。

* 20:13 20:13 「メリバ」は「争い」を意味する。

16 私たちが主に叫び求めたとき、主は私たちの声を聞き、御使いを遣わして、私たちをエジプトから導き出されました。見よ、私たちはあなたの領土の境にある町、カデシュにいます。

17 どうかあなたの国を通らせてください。私たちは畑やぶどう園を通りませんし、井戸の水も飲みません。私たちは王の道を通り、あなたの領土を通り過ぎるまで、右にも左にも曲がりません。』」

18 エドムは彼に言った。「私のところを通ってはならない。さもないと、私は剣を持ってあなたを迎え撃つために出て行く。」

19 イスラエルの子らは彼に言った。「私たちは大通りを上って行きます。もし私や家畜があなたの水を飲むなら、その代価を払います。ただ徒歩で通り過ぎるだけで、他には何もしません。」

20 彼は言った。「通ってはならない。」エドムは大軍を率いて、強い手で彼を迎え撃つために出て来た。

21 こうしてエドムは、イスラエルがその領土を通ることを拒んだので、イスラエルは彼から遠ざかった。

22 イスラエルの子ら、すなわち全会衆はカデシュから旅立ち、ホル山に着いた。

23 主はエドムの地の境にあるホル山で、モーセとアロンに語って言われた。

24 「アロンは彼の民に加えられる。メリバの水であなたがたがわたしの言葉に背いたので、彼はわたしがイスラエルの子らに与えた地に入ることはできない。

25 アロンとその子エルアザルを連れて、ホル山に登りなさい。

26 アロンの衣を脱がせ、それを彼の子エルアザルに着せなさい。アロンはそこで民に加えられ、死ぬ。」

27 モーセは主が命じられたとおりに行った。彼らは全会衆の目の前でホル山に登った。

28 モーセはアロンの衣を脱がせ、それを彼の子エルアザルに着せた。アロンはそこで、山の頂で死んだ。そしてモーセとエルアザルは山から下りた。

29 全会衆はアロンが死んだのを見たとき、イスラエルの全家はアロンのために三十日間泣き悲しんだ。

21

1 南の地に住んでいたカナン人、アラドの王は、イスラエルがアタリムの道を通って来たと聞いて、イスラエルと戦い、そのうちの何人かを捕虜にした。

2 イスラエルは主に誓願を立てて言った。「もしあなたが、この民を完全に私の手に引き渡してくださるなら、私は彼らの町々を完全に滅ぼします。」

3 主はイスラエルの声を聞き、カナン人を引き渡された。彼らはカナン人とその町々を完全に滅ぼした。その場所の名はホルマ*と呼ばれた。

4 彼らはエドムの地をう回するため、ホル山から紅海への道を通って旅立った。民の心は途中で耐えきれなくなった。

5 民は神とモーセに逆らって語った。「なぜあなたがたは私たちをエジプトから導き上って、この荒野で死なせようとするのか。パンもなく、水もない。私たちはこの嫌な食物を忌み嫌っている。」

* 21:3 21:3 「ホルマ」は「滅び」を意味する。

6 主は民の間に毒蛇を送られた。
蛇は民を噛み、イスラエルの多くの民が死んだ。

7 民はモーセのところに来て言った。「私たちは主とあなたに逆らって語り、罪を犯しました。蛇を私たちから取り去ってくださるよう、主に祈ってください。」モーセは民のために祈った。

8 主はモーセに言われた。「毒蛇を作り、それを竿の上に掲げなさい。噛まれた者は皆、それを見れば生きる。」

9 モーセは青銅の蛇を作り、それを竿の上に掲げた。蛇がだれかを噛んでも、その人が青銅の蛇を見ると、生きた。

10 イスラエルの子らは旅立ち、オボテに宿営した。

11 彼らはオボテから旅立ち、モアブの東、日の出る方角にある荒野のイエ・アバリムに宿営した。

12 そこから旅立ち、ゼレドの谷に宿営した。

13 そこから旅立ち、アモリ人の境界から広がる荒野にあるアルノン川の向こう側に宿営した。アルノン川はモアブとアモリ人の間にある、モアブの境界だからである。

14 それゆえ、主の戦いの書にはこう言われている。

「スファにおけるワヘブ、
アルノンの谷、

15 谷の斜面、
アルの住まいに傾き、
モアブの境界に寄りかかる。」

16 そこから彼らはベエルへ向かった。そこは、主がモーセに「民を集めなさい。わたしは彼らに水を与える」と言われた井戸である。

- 17 そのとき、イスラエルはこの歌を歌った。
「湧き上がれ、井戸よ！これに向かって歌え。
- 18 長たちが掘った井戸、
民の尊い者たちが、
王笏と杖で掘った井戸。」
荒野から彼らはマタナへ向かい、
- 19 マタナからナハリエルへ、ナハリエルからバモテへ、
- 20 バモテからモアブの野にある谷へ、荒れ地を見下ろすピスガの頂へ向かった。
- 21 イスラエルはアモリ人の王シホンに使いを遣わして言った。
- 22 「あなたの国を通らせてください。私たちは畑やぶどう園にそれることはしません。井戸の水も飲みません。あなたの境界を通り過ぎるまで、王の道を通ります。」
- 23 しかし、シホンはイスラエルが自分の境界を通ることを許さなかった。シホンはそのすべての民を集め、イスラエルを迎え撃つために荒野に出て来て、ヤハツに着き、イスラエルと戦った。
- 24 イスラエルは彼を剣の刃で打ち、アルノン川からヤボク川に至るまで、アンモン人のところまで彼の地を占領した。アンモン人の境界は強固だったからである。
- 25 イスラエルはこれらのすべての町を取った。イスラエルはアモリ人のすべての町、すなわちヘシュボンとそのすべての村々に住んだ。
- 26 ヘシュボンはアモリ人の王シホンの町であった。彼は以前のモアブの王と戦い、アルノン川に至るまですべての地を彼の手から奪い取っていた。
- 27 それゆえ、ことわざを言う者たちは言う。
「ヘシュボンに来て、

シホンの町を建て、堅く立たせよ。

28 火がヘシュボンから、
炎がシホンの町から出て、
モアブのアルを、
アルノン川の高き所の主たちを食い尽くしたからである。

29 モアブよ、おまえは災いだ。
ケモシュの民よ、おまえは滅びた。
彼はその息子たちを逃亡者とし、
娘たちをアモリ人の王シホンへの捕虜とした。

30 私たちは彼らを射た。
ヘシュボンはディボンに至るまで滅びた。
私たちはメデバに達するノファに至るまで
荒れ廃れさせた。」

31 こうしてイスラエルはアモリ人の地に住んだ。

32 モーセはヤゼルを偵察するために人を遣わした。
彼らはその村々を取り、そこにいたアモリ人を追い出した。

33 彼らは向きを変え、バシヤンの道へ上って行った。
バシヤンの王オグは、彼とそのすべての民とともに
彼らを迎え撃つために出て来て、エドレイで戦った。

34 主はモーセに言われた。「彼を恐れてはならない。
わたしは彼と彼のすべての民、そして彼の地を
あなたの手に引き渡した。あなたは、ヘシュボン
に住んでいたアモリ人の王シホンにしたのと同じように、
彼にもしなければならぬ。」

35 そこで彼らは、彼とその息子たち、および彼の
すべての民を、一人も残さずに打ち倒し、その
地を占領した。

22

¹ イスラエルの子らは旅立ち、エリコのそば、ヨルダンの向こう側にあるモアブの平野に宿営した。

² ツィポルの子バラクは、イスラエルがアモリ人に行ったすべてのことを見た。

³ モアブは、民の数が多いので、彼らを非常に恐れた。モアブはイスラエルの子らのゆえに苦悩した。

⁴ モアブはミディアンの長老たちに言った。
「今やこの群集は、牛が野の草をなめ尽くすように、私たちの周りにあるすべてのものをなめ尽くそうとしている。」

ツィポルの子バラクは、その時モアブの王であった。

⁵ 彼は、川のほとりにあるペトル、すなわち彼の民の子らの地にいるベオルの子バラムを呼び寄せるために使いを遣わして、言った。
「見よ、一つの民がエジプトから出て来た。見よ、彼らは地の面を覆い、私のそばに住み着いている。」

⁶ だから今、来て、私のためにこの民を呪ってほしい。彼らは私よりも強いからである。そうすれば、私が彼らを打ち、この地から追い出すことができるかもしれない。あなたが祝福する者は祝福され、あなたが呪う者は呪われることを、私は知っているからだ。」

⁷ モアブの長老たちとミディアンの長老たちは、占いの報酬を手にとって出発し、バラムのもとに来て、バラクの言葉を彼に告げた。

⁸ 彼は彼らに言った。「今夜はここに泊まりなさい。主が私に語られるとおりに、あなたがたに返事をしよう。」そこでモアブの指導者たちはバラムのもとにとどまった。

⁹ 神がバラムのところに来て言われた。「あなたと一緒にいるこの男たちはだれか。」

10 バラムは神に言った。「モアブの王、ツィポルの子バラクが私に使いを遣わして言いました。

11 『見よ、エジプトから出て来た民が地の面を覆っている。今来て、私のために彼らを呪ってほしい。そうすれば私は彼らと戦い、彼らを追い出すことができるかもしれない。』」

12 神はバラムに言われた。「あなたは彼らと一緒に行ってはならない。その民を呪ってはならない。彼らは祝福されているからである。」

13 朝になってバラムは起き、バラクの指導者たちに言った。「あなたがたの国へ帰りなさい。主が、私にあなたがたと一緒に行くことをお許しにならないからだ。」

14 モアブの指導者たちは起きてバラクのもとへ帰り、言った。「バラムは私たちと一緒に来ることを拒みました。」

15 バラクは再び、先の人たちよりも多く、より尊い指導者たちを遣わした。

16 彼らはバラムのところに来て言った。「ツィポルの子バラクはこう言います。『どうか、私のもとに来ることを妨げるものがないようにしてください。』」

17 私はあなたを大いに優遇し、あなたが私に言うことは何でも行います。だからどうか来て、私のためにこの民を呪ってください。』」

18 バラムはバラクの家来たちに答えて言った。「たといバラクが、銀と金で満ちた彼の家を私にくれたとしても、私は私の神、主の言葉を越えて、小さなことも大きなことも行うことはできない。

19 それゆえ、どうかあなたがたも今夜はここにとどまってほしい。主が私にさらに何を語られるかを知るためである。」

20 夜、神はバラムのところに来て言われた。「もしこの男たちがあなたを呼ぶために来たのなら、立って彼らと一緒に行きなさい。しかし、わたしがあなたに告げることだけを行わなければならない。」

21 バラムは朝起きて、自分のろばに鞍を置き、モアブの指導者たちとともに出発した。

22 彼が出発したことで神の怒りが燃え上がり、主の使いが彼をはばむ者として道に立った。彼はろばに乗り、二人の若者が彼とともにいた。

23 ろばは主の使いが抜き身の剣を手にとって道に立っているのを見て、道からそれて畑に入って行った。バラムはろばを道に戻そうとして、ろばを打った。

24 すると、主の使いはぶどう園の間の狭い道に立った。両側には石垣があった。

25 ろばは主の使いを見ると、石垣に身を押し付け、バラムの足を石垣に押し付けた。そこで彼は再びろばを打った。

26 主の使いはさらに進み、右にも左にも曲がる余地のない狭い場所に立った。

27 ろばは主の使いを見ると、バラムを乗せたまましゃがみ込んだ。バラムの怒りは燃え上がり、杖でろばを打った。

28 すると、主がろばの口を開かれた。ろばはバラムに言った。「私があなたに何をしたのですか。私をこのように三度も打つとは。」

29 バラムはろばに言った。「おまえが私をからかったからだ。私の手に剣があれば、今おまえを殺していただろう。」

30 ろばはバラムに言った。「私は、あなたが今日に至るまで生涯乗ってきたあなたのろばではありません

ませんか。私は今まであなたにこのようなことをしたことがあったでしょうか。」

彼は言った。「いや、ない。」

³¹ そのとき、主はバラムの目を開かれた。彼は主の使いが抜き身の剣を手にとって道に立っているのを見た。彼は頭を下げ、顔を地につけてひれ伏した。

³² 主の使いは彼に言った。「なぜあなたのろばをこのように三度も打ったのか。見よ、あなたの道がわたしの前で曲がっているので、わたしはあなたに敵対する者として出て来たのだ。」

³³ ろばはわたしを見て、このように三度わたしの前から身をかわした。もしろばがわたしの前から身をかわさなかったなら、わたしは今ごろ確実にあなたを殺し、ろばを生かしていただろう。」

³⁴ バラムは主の使いに言った。「私は罪を犯しました。あなたが私に立ち向かうために道に立っておられることを知らなかったからです。それゆえ今、もしこれがあなたの目に悪いのなら、私は引き返します。」

³⁵ 主の使いはバラムに言った。「この男たちと一緒に行きなさい。ただし、わたしがあなたに語る言葉だけを語らなければならない。」こうしてバラムはバラクの指導者たちとともにいった。

³⁶ バラクはバラムが来たことを聞き、彼を出迎えるためにモアブの町へ出て行った。それはアルノン川の境界、境界の果てにある町である。

³⁷ バラクはバラムに言った。「私はあなたを呼ぶために使いを遣わしたではないか。なぜ私のところに来なかったのか。私はあなたを優遇することができないとでもいうのか。」

³⁸ バラムはバラクに言った。「見よ、私はあなたのところに来た。今、私に何かを語る力が少しでも

あるだろうか。神が私の口に置かれる言葉、それを私は語らなければならない。」

³⁹ バラムはバラクとともに行き、キルヤテ・フゾトに着いた。

⁴⁰ バラクは牛と羊をいけにえとし、バラムと、彼とともにいた指導者たちに送った。

⁴¹ 朝になると、バラクはバラムを連れてバモテ・バアルに上った。そこから彼は民の端を見た。

23

¹ バラムはバラクに言った。「私のためにここに七つの祭壇を築き、七頭の牛と七頭の雄羊をここに準備してください。」

² バラクはバラムが言ったとおりに行い、バラクとバラムは各々の祭壇に牛一頭と雄羊一頭をささげた。

³ バラムはバラクに言った。「あなたの全焼のささげ物のそばに立っていてください。私は行きます。もしかすると、主が私に会いに来てくださるかもしれません。彼が私に示されることを、あなたに告げましょう。」そして彼は裸の丘へ行った。

⁴ 神がバラムに会われた。バラムは神に言った。「私は七つの祭壇を準備し、各々の祭壇に牛一頭と雄羊一頭をささげました。」

⁵ 主はバラムの口に言葉を置き、言われた。「バラクのところに戻り、このように語りなさい。」

⁶ 彼は戻って行った。見よ、バラクはモアブのすべての指導者たちとともに、自分の全焼のささげ物のそばに立っていた。

⁷ 彼は自分の託宣を取り上げて、言った。

「アラムからバラクは私を連れて来た。

モアブの王が東の山々から。

『来て、私のためにヤコブを呪え。』

来て、イスラエルを**非難**せよ。』

8 神が呪っていない者を、どうして私が呪えようか。

主が**非難**していない者を、どうして私が**非難**できようか。

9 岩の頂から私は彼を見る。

丘の上から私は彼を見つめる。

見よ、独りで住み、

国々の間には数えられない民。

10 だれがヤコブのちりを数え、

イスラエルの四分の一を数えられようか。

私は義人の死を遂げたい。

私の終わりが彼のものであつてほしい!」

11 バラクはバラムに言った。「あなたは何ということを私にしたのか。私の敵を呪うためにあなたを連れて来たのに、見よ、あなたは彼らを完全に祝福した。」

12 バラムは答えて言った。「主が私の口に置かれることを、私は注意して語らなければならないではないか。」

13 バラクは彼に言った。「どうか、私と一緒に別の場所へ行きましょう。そこから彼らを見ることができます。ただ彼らの端だけが見え、全部は見えません。そこから私のために彼らを呪ってください。」

14 バラクは彼をツォフィムの野、ピスガの頂へ連れて行き、七つの祭壇を築き、各々の祭壇に牛一頭と雄羊一頭をささげた。

15 バラムはバラクに言った。「私が向こうで主に会っている間、あなたの全焼のささげ物のそばに立っていてください。」

16 主がバラムに会い、彼の口に言葉を置いて、言われた。「バラクのところに戻り、このように語りなさい。」

17 彼がバラクのところに来ると、見よ、バラクは自分の全焼のささげ物のそばに立っており、モアブの指導者たちも彼とともにいた。バラクは彼に言った。「主は何と語られたか。」

18 バラムは自分の託宣を取り上げて、言った。

「バラクよ、立ち上がって聞け。

ツィポルの子よ、私に耳を傾けよ。

19 神は人間ではないから、偽ることはない。
人の子ではないから、心を変えることはない。
神が言われたことを、行わないだろうか。
神が語られたことを、実行されないだろうか。

20 見よ、私は祝福せよとの命令を受けた。
神が祝福された。私はそれを変えることができない。

21 彼はヤコブの中に咎を見ず、
イスラエルの中に曲がったことを見られない。
彼らの神、主が彼らとともにおられ、
王をたたえる声が彼らの間にある。

22 神が彼らをエジプトから導き出された。
彼には野牛のような力がある。

23 確かにヤコブには呪術がなく、
イスラエルには占いもない。

今、ヤコブとイスラエルについて言われるだろう。
『神は何ということをやされたのか!』と。

24 見よ、その民は雌獅子のように起き上がり、
獅子のように自らを奮い立たせる。

獲物を食べ、
殺された者の血を飲むまで、彼は横たわらない。」

25 バラクはバラムに言った。「彼らを決して呪うな。また決して彼らを祝福するな。」

- 26 しかしバラムはバラクに答えて言った。
「私があなたに、『主が語られることを、私はすべて行わなければならない』と告げたではないか。」
- 27 バラクはバラムに言った。「さあ、あなたを別の場所へ連れて行こう。そこから私のために彼らを呪うことが、神の御目にかなうかもしれない。」
- 28 バラクはバラムを、荒れ地を見下ろすペオルの頂へ連れて行った。
- 29 バラムはバラクに言った。「私のためにここに七つの祭壇を築き、ここに七頭の牛と七頭の雄羊を準備してください。」
- 30 バラクはバラムが言ったとおりに行い、各々の祭壇に牛一頭と雄羊一頭をささげた。

24

- 1 バラムは、イスラエルを祝福することが主の御目にかなうことを見たとき、以前のように呪術を求めて行くことはせず、荒野の方へ顔を向けた。
- 2 バラムが目を見ると、イスラエルがその部族ごとに宿営しているのが見えた。そして神の霊が彼の上に臨んだ。
- 3 彼は自分の託宣を取り上げて、言った。
「ベオルの子バラムの言葉。
目を開かれた者の言葉。」
- 4 神の言葉を聞く者の言葉。
彼は全能者の幻を見る。
彼は倒れるが、その目は開かれている。
- 5 ヤコブよ、あなたの天幕はなんと美しいことか。
イスラエルよ、あなたの宿営は！
- 6 それらは谷のように広がり、
川のほとりの園のように、
主が植えられたアロエのように、

水のほとりの杉の木のように広がる。

7 水は彼のバケツから流れ出て、
彼の種は多くの水の中にある。
彼の王はアガグよりも高く上げられ、
彼の王国は高められる。

8 神が彼をエジプトから導き出された。
彼には野牛のような力がある。
彼は敵である国々を食い尽くし、
彼らの骨を砕き、
矢で彼らを射抜く。

9 彼はしやがみ、獅子のように、
雌獅子のように横たわる。
だれが彼を呼び覚ますことができようか。
あなたを祝福する者は皆祝福され、
あなたを呪う者は皆呪われる。」

10 バラクの怒りはバラムに向かって燃え上がり、
彼は手を打ち鳴らした。バラクはバラムに言った。
「私は敵を呪うためにあなたを呼んだのに、
見よ、あなたはこの三度、彼らを完全に祝福した。

11 だから今、あなたのいる所へ逃げ帰れ。私はあ
なたを大いに優遇すると言ったが、見よ、主はあな
たが優遇されることを妨げられたのだ。」

12 バラムはバラクに言った。「私が、あなた
が遣わした使者たちにも告げたではないか。

13 『たといバラクが、銀と金で満ち
た彼の家を私にくれたとしても、私は主の言
葉を越えて、私の思いによつて良いことも悪いこと
も行うことはできない。主が語られることを、
私は語るのだ』と。

14 今、見よ、私は私の民のところへ帰る。来なさ
い。後々の日に、この民があなたの民に何をする
か、あなたに知らせよう。」

15 彼は自分の託宣を取り上げて、言った。

- 「ベオルの子バラムの言葉。
目を開かれた者の言葉。
16 神の言葉を聞く者の言葉。
いと高き方の知識を知る者。
彼は全能者の幻を見る。
彼は倒れるが、その目は開かれている。
17 私は彼を見るが、今ではない。
私は彼を見つめるが、近くではない。
ヤコブから一つの星が現れ、
イスラエルから一つの王笏が立ち上がる。
それはモアブの隅々を打ち砕き、
シェトのすべての子らを砕く。
18 エドムは所有地となり、
セイルもその敵たちの所有地となる。
イスラエルは力強く行動する。
19 ヤコブから支配者が現れ、
町からの生き残りを滅ぼす。」
20 彼はアマレクを見て、自分の託宣を取り上げて、言った。
「アマレクは国々の初めであったが、
その終わりは滅びに至る。」
21 彼はケニ人を見て、自分の託宣を取り上げて、言った。
「あなたの住まいは堅固であり、
あなたの巢は岩に置かれている。
22 しかし、カインは荒れ果て、
やがてアッシュルがあなたを捕虜とし
て連れ去るだろう。」
23 彼は自分の託宣を取り上げて、言った。
「ああ、神がこれをなされるとき、だれが生き残れ
ようか。
24 しかし、キティムの岸から船が来て、
アッシュルを苦しめ、エベルを苦しめる。

彼もまた、完全に滅びる。」

²⁵ バラムは立ち上がり、去って自分の所へ帰った。バラクも自分の道を行った。

25

¹ イスラエルはシティムにとどまっていた。すると、民はモアブの娘たちと淫行を働き始めた。

² 彼女たちが自分たちの神々のいけにえに民を招いたからである。民は食べ、彼女たちの神々にひれ伏した。

³ イスラエルはバアル・ペオルに結びつき、主の怒りがイスラエルに向かって燃え上がった。

⁴ 主はモーセに言われた。「民の長たちをすべて捕らえ、日の下で主の前に吊るしなさい。そうすれば、主の激しい怒りはイスラエルから去る。」

⁵ モーセはイスラエルの裁き人たちに言った。「あなたがたはそれぞれ、バアル・ペオルに結びついた自分の部下たちを殺しなさい。」

⁶ 見よ、イスラエルの子らの一人が来て、モーセの目の前、およびイスラエルの子らの全会衆の目の前で、自分の兄弟たちのところに一人のミディアン人の女を連れて来た。そのとき、彼らは会見の天幕の入口で泣いていた。

⁷ 祭司アロンの子エルアザルの子ピネハスはそれを見ると、会衆の中から立ち上がり、手に槍を取った。

⁸ 彼はイスラエルの男の後を追って天幕の奥に入り、イスラエルの男と、その女の腹を二人とも刺し貫いた。こうして、イスラエルの子らの間で災いはとどまった。

⁹ その災いで死んだ者は二万四千人であった。

¹⁰ 主はモーセに語って言われた。

11 「祭司アロンの子エルアザルの子ピネハスは、イスラエルの子らからわたしの憤りをそらせた。彼が彼らの間でわたしのねたみをもってねたんだため、わたしは自分のねたみによってイスラエルの子らを滅ぼし尽くすことはなかった。

12 それゆえ、言いなさい。『見よ、わたしは彼にわたしの平和の契約を与える。』

13 彼が自分の神のためにねたみ、イスラエルの子らのために贖罪を行ったので、これは彼と、彼の後の子孫にとって永遠の祭司の務めの契約となる。』」

14 さて、ミディアン人の女とともに殺されたイスラエルの男の名は、サルの子ジムリといい、シメオン人の父の家の指導者であった。

15 殺されたミディアン人の女の名は、ツルの娘コズビであった。ツルはミディアン人の父の家の民の頭であった。

16 主はモーセに語って言われた。

17 「ミディアン人を苦しめ、彼らを打ちなさい。

18 ペオルのことや、ペオルのことによる災いの日に殺されたミディアン人の指導者の娘である彼らの姉妹コズビのことで、彼らがたくらみをもってあなたがたを欺き、あなたがたを苦しめたからである。」

26

1 災いの後、主はモーセと祭司アロンの子エルアザルに語って言われた。

2 「イスラエルの子らの全会衆について、二十歳以上でイスラエルにおいて軍務につくことのできるすべての者を、父の家ごとに数えなさい。」

3 モーセと祭司エルアザルは、エリコの向かい側にあるヨルダン川のほとりのモアブの平野で彼らに語って言った。

4 「主がモーセとイスラエルの子らに命じられたとおりに、二十歳以上の者を数えなさい。」

エジプトの地から出た者たちは次のとおりである。

5 イスラエルの長子であるルベン。ルベンの子らは、ハノクからハノク人の氏族、パルからパル人の氏族、

6 ヘツロンからヘツロン人の氏族、カルミからカルミ人の氏族が出た。

7 これらがルベン人の氏族である。彼らのうち数えられた者は、四万三千七百三十人であった。

8 パルの子はエリアブであった。

9 エリアブの子らはネムエル、ダタン、アビラムであった。このダタンとアビラムは、会衆に呼び出された者たちであったが、コラの仲間とともに主に向かって争ったとき、モーセとアロンに向かって争った。

10 そのとき地はその口を開き、コラとともに彼らを飲み込んだ。その仲間が死んだとき、火が二百五十人の男たちを食い尽くし、彼らはしるしとなった。

11 しかし、コラの子らは死ななかった。

12 シメオンの子らの氏族は次のとおりである。ネムエルからネムエル人の氏族、ヤミンからヤミン人の氏族、ヤキンからヤキン人の氏族、

13 ゼラからゼラ人の氏族、シャウルからシャウル人の氏族が出た。

14 これらがシメオン人の氏族であり、二万二千二百人であった。

15 ガドの子らの氏族は次のとおりである。ツェフオンからツェフオン人の氏族、ハギからハギ人の氏族、シュニからシュニ人の氏族、

16 オズニからオズニ人の氏族、エリからエリ人の氏族、

17 アロドからアロド人の氏族、アレリからアレリ人の氏族が出た。

18 これらがガドの子らの氏族であり、数えられた者に従うと四万五百人であった。

19 ユダの子らはエルとオナンであった。エルとオナンはカナンで死んだ。

20 ユダの子らの氏族は次のとおりである。シエラからシエラ人の氏族、ペレツからペレツ人の氏族、ゼラからゼラ人の氏族が出た。

21 ペレツの子らは、ヘツロンからヘツロン人の氏族、ハムルからハムル人の氏族が出た。

22 これらがユダの氏族であり、数えられた者に従うと七万六千五百人であった。

23 イッサカルの子らの氏族は次のとおりである。トラからトラ人の氏族、プワからプワ人の氏族、

24 ヤシュブからヤシュブ人の氏族、シムロンからシムロン人の氏族が出た。

25 これらがイッサカルの氏族であり、数えられた者に従うと六万四千三百人であった。

26 ゼブルンの子らの氏族は次のとおりである。セレドからセレド人の氏族、エロンからエロン人の氏族、ヤフレエルからヤフレエル人の氏族が出た。

27 これらがゼブルン人の氏族であり、数えられた者に従うと六万五百人であった。

28 ヨセフの子らの氏族は、マナセとエフライムであった。

29 マナセの子らは、マキルからマキル人の氏族が出た。マキルはギルアデの父となった。ギルアデからギルアデ人の氏族が出た。

³⁰ ギルアデの子らは次のとおりである。イエゼルからイエゼル人の氏族、ヘレクからヘレク人の氏族、

³¹ アスリエルからアスリエル人の氏族、シェケムからシェケム人の氏族、

³² シェミダからシェミダ人の氏族、ヘフェルからヘフェル人の氏族が出た。

³³ ヘフェルの子ゼロフェハデには息子がなく、娘だけであった。ゼロフェハデの娘たちの名は、マブラ、ノア、ホグラ、ミルカ、ティルツアであった。

³⁴ これらがマナセの氏族である。彼らのうち数えられた者は、五万二千七百人であった。

³⁵ エフライムの子らの氏族は次のとおりである。シュテラからシュテラ人の氏族、ベケルからベケル人の氏族、タハンからタハン人の氏族が出た。

³⁶ シュテラの子らは次のとおりである。エランからエラン人の氏族が出た。

³⁷ これらがエフライムの子らの氏族であり、数えられた者に従うと三万二千五百人であった。これらがヨセフの子らの氏族である。

³⁸ ベニヤミンの子らの氏族は次のとおりである。ベラからベラ人の氏族、アシュベルからアシュベル人の氏族、アヒラムからアヒラム人の氏族、

³⁹ シュファムからシュファム人の氏族、フファムからフファム人の氏族が出た。

⁴⁰ ベラの子らはアルドとナアマンであり、アルドからアルド人の氏族、ナアマンからナアマン人の氏族が出た。

⁴¹ これらがベニヤミンの子らの氏族である。彼らのうち数えられた者は、四万五千六百人であった。

⁴² ダンの子らの氏族は次のとおりである。シュハムからシュハム人の氏族が出た。これらがダンの氏

族である。

⁴³ シュハム人のすべての氏族は、数えられた者に従うと六万四千四百人であつた。

⁴⁴ アシエルの子らの氏族は次のとおりである。イムナからイムナ人の氏族、イシュビからイシュビ人の氏族、ベリアからベリア人の氏族が出た。

⁴⁵ ベリアの子らは、ヘベルからヘベル人の氏族、マルキエルからマルキエル人の氏族が出た。

⁴⁶ アシエルの娘の名はセラといった。

⁴⁷ これらがアシエルの子らの氏族であり、数えられた者に従うと五万三千四百人であつた。

⁴⁸ ナフタリの子らの氏族は次のとおりである。ヤフツェエルからヤフツェエル人の氏族、グニからグニ人の氏族、

⁴⁹ イエツェルからイエツェル人の氏族、シレムからシレム人の氏族が出た。

⁵⁰ これらがナフタリの氏族である。彼らのうち数えられた者は、四万五千四百人であつた。

⁵¹ イスラエルの子らの中で数えられた者たちは、これら六十万一千七百三十人であつた。

⁵² 主はモーセに語って言われた。

⁵³ 「これらの者に、名前の数に従って、所有地として地を割り当てなければならない。

⁵⁴ 人数の多い者には所有地を多く与え、人数の少ない者には所有地を少なく与えなければならない。それぞれ数えられた者に応じて所有地が与えられなければならない。

⁵⁵ しかし、その地はくじによって割り当てられなければならない。彼らは父祖の部族の名に従ってそれを受け継ぐ。

⁵⁶ その所有地は、人数の多い者と少ない者との間で、くじに従って割り当てられなければならない。」

57 レビ人の氏族に従って数えられた者は次のとおりである。ゲルシオンからゲルシオン人の氏族、ケハテからケハテ人の氏族、メラリからメラリ人の氏族が出た。

58 レビの氏族は次のとおりである。リブ二人の氏族、ヘブロン人の氏族、マフリ人の氏族、ムシ人の氏族、コラ人の氏族である。ケハテはアムラムの父となった。

59 アムラムの妻の名は、エジプトでレビに生まれたレビの娘ヨケベデであった。彼女はアムラムにアロンとモーセ、およびその姉妹ミリアムを産んだ。

60 アロンにはナダブとアビフ、エルアザルとイタルが生まれた。

61 ナダブとアビフは、主の前に異なる火をささげたときに死んだ。

62 一か月以上のすべての男子で、彼らのうち数えられた者は二万三千人であった。彼らはイスラエルの子らの中には数えられなかった。イスラエルの子らの中で彼らには所有地が与えられなかったからである。

63 これらは、エリコの向かい側にあるヨルダン川のほとりのモアブの平野で、イスラエルの子らを数えたモーセと祭司エルアザルによって数えられた者たちである。

64 しかし、これらのうちには、シナイの荒野でイスラエルの子らを数えたモーセと祭司アロンによって数えられた男は一人もいなかった。

65 主が彼らについて、「彼らは必ず荒野で死ぬ」と言われていたからである。彼らのうち、エフネの子カレブとヌンの子ヨシュアを除いては、男は一人も残っていなかった。

27

¹ そのとき、ヨセフの子マナセの氏族のうち、マナセの子マキルの子ギルアデの子ヘフェルの子であるゼロフェハデの娘たちが近づいて来た。その娘たちの名はマフラ、ノア、ホグラ、ミルカ、ティルツアであった。

² 彼女たちは会見の天幕の入口で、モーセと祭司エルアザル、および指導者たちと全会衆の前に立って言った。

³ 「私たちの父は荒野で死にました。彼はコラの仲間として主に向かって集まった者たちの仲間にはおらず、自分自身の罪によって死にました。彼には息子がいませんでした。

⁴ 息子がいなかったという理由で、なぜ私たちの父の名がその氏族の中から取り去られなければならないのでしょうか。私たちの父の兄弟たちの間で、私たちに所有地を与えてください。」

⁵ モーセは彼女たちの訴えを主の前に持ち出した。

⁶ 主はモーセに語って言われた。

⁷ 「ゼロフェハデの娘たちの言うことは正しい。あなたは確かに、彼女たちの父の兄弟たちの間で所有地を受け継がせ、彼女たちの父の所有地を彼女たちに譲らなければならない。

⁸ あなたはイスラエルの子らに告げて言いなさい。『もし男が死んで息子がいないなら、あなたはその所有地を娘に譲らなければならない。』

⁹ もし娘もいないなら、その所有地を彼の兄弟たちに与えなければならない。

¹⁰ もし兄弟たちもいないなら、その所有地を彼の父の兄弟たちに与えなければならない。

¹¹ もし彼の父に兄弟たちがいないなら、その所有地を氏族の中で彼に最も近い親族に与えなければな

らない。彼はそれを所有する。これは、主がモーセに命じられたとおり、イスラエルの子らにとって律法の定めとなる。』」

12 主はモーセに言われた。「このアバリムの山に登り、わたしがイスラエルの子らに与えた地を見なさい。

13 それを見た後、あなたの兄弟アロンが加えられたように、あなたもあなたの民に加えられる。

14 あなたがたはツインの荒野で会衆が争ったとき、彼らの目の前で水についてわたしを聖なるものとするというわたしの言葉に背いたからである。」
(これはツインの荒野のカデシュにあるメリバの水のことである。)

15 モーセは主に語って言った。

16 「すべての肉体の霊の神、主よ、どうか会衆の上に一人の人を任命してください。

17 彼らの前に立って出て行き、彼らの前に入ってきて来る者、彼らを導き出し、彼らを導き入れる者です。主の会衆が羊飼いのいない羊のようにならないためです。」

18 主はモーセに言われた。「その内に霊のある人、ヌンの子ヨシュアを取り、あなたの手を彼の上に置きなさい。

19 彼を祭司エルアザルと全会衆の前に立たせ、彼らの目の前で彼に任務をゆだねなさい。

20 あなたは自分の権威の一部を彼に与え、イスラエルの子らの全会衆を彼に従わせなさい。

21 彼は祭司エルアザルの前に立ち、エルアザルは主の前で彼のためにウリムの裁きによって伺いを立てなければならない。彼と、彼とともにいるイスラエルのすべての人々、すなわち全会衆は、エルアザルの言葉によって出て行き、その言葉によって入って来なければならない。」

22 モーセは主が命じられたとおりに行った。彼はヨシュアを取り、彼を祭司エルアザルと全会衆の前に立たせた。

23 彼は主がモーセを通して語られたように、自分の手を彼の上に置き、彼に任務をゆだねた。

28

1 主はモーセに語って言われた。

2 「イスラエルの子らに命じて、彼らに言いなさい。『わたしへのささげ物、すなわち、わたしへの心地よい香りのための火によるささげ物の食物を、定められた時にわたしにささげるよう守らなければならない。』

3 あなたは彼らに言いなさい。『あなたがたが主にささげる火によるささげ物は次のとおりである。絶えずささげる全焼のささげ物として、一歳の傷のない雄の子羊を毎日二頭ささげなさい。

4 一頭の子羊は朝にささげ、もう一頭の子羊は夕方にささげなさい。

5 穀物のささげ物として十分の一エパ*の上質の小麦粉に、打って搾った四分の一ヒン†の油を混ぜたものをささげなさい。

6 これはシナイ山で定められた、絶えずささげる全焼のささげ物であり、主への心地よい香りのための、火によるささげ物である。

7 その飲み物のささげ物は、子羊一頭につき四分の一ヒン‡とする。あなたは聖所で、強い酒の飲み物のささげ物を主に注ぎなさい。

8 もう一頭の子羊は夕方にささげなさい。朝の穀物のささげ物とその飲み物のささげ物と同じよう

* 28:5 28:5 一エパは約22リットル、または約3分の2ブッシェルである。

† 28:5 28:5 一ヒンは約6.5リットル、または1.7ガロンである。

‡ 28:7 28:7 一ヒンは約6.5リットル、または1.7ガロンである。

に、主への心地よい香りのための火によるささげ物として、これをささげなければならない。

9 「『安息日には、一歳の傷のない雄の子羊二頭と、穀物のささげ物として油を混ぜた十分の二エパ[§]の上質の小麦粉、およびその飲み物のささげ物をささげなさい。

10 これは絶えずささげる全焼のささげ物とその飲み物のささげ物に加えてささげる、毎安息日の全焼のささげ物である。

11 「『あなたがたの月の初めには、主への全焼のささげ物をささげなさい。すなわち若い牛二頭、雄羊一頭、一歳の傷のない雄の子羊七頭である。

12 牛一頭につき、穀物のささげ物として油を混ぜた十分の三エパ^{*}の上質の小麦粉を、雄羊一頭につき、穀物のささげ物として油を混ぜた十分の二エパの上質の小麦粉をささげなさい。

13 子羊一頭ごとに、穀物のささげ物として油を混ぜた十分の一エパの上質の小麦粉をささげなさい。これは主への心地よい香りのための火によるささげ物、全焼のささげ物である。

14 その飲み物のささげ物は、牛一頭につき二分の一ヒンのぶどう酒、雄羊には三分の一ヒン、子羊には四分の一ヒンとする。これは一年を通じた各月の、毎月の全焼のささげ物である。

15 主への贖罪のささげ物として雄山羊一頭を、絶えずささげる全焼のささげ物とその飲み物のささげ物に加えてささげなければならない。

16 「『第一の月の十四日は、主の過越の祭りである。

§ 28:9 28:9 一エパは約22リットル、または約3分の2ブッシェルである。

* 28:12 28:12 一エパは約22リットル、または約3分の2ブッシェルである。

17 この月の十五日は祭りである。七日間、種なしパンを食べなければならない。

18 最初の日は聖なる集会とする。通常のいかなる仕事もしてはならない。

19 しかし、あなたがたは主への火によるささげ物、全焼のささげ物をささげなさい。若い牛二頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊七頭である。それらは傷のないものでなければならない。

20 それらに伴う穀物のささげ物は、油を混ぜた上質の小麦粉とする。牛一頭につき十分の三エパを、雄羊につき十分の二エパをささげなさい。

21 七頭の子羊のそれぞれ一頭につき、十分の一エパをささげなさい。

22 また、あなたがたのために贖罪を行うため、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。

23 あなたがたはこれらを、朝の全焼のささげ物、すなわち絶えずささげる全焼のささげ物に加えてささげなさい。

24 このようにして、あなたがたは七日間、毎日、主への心地よい香りのための火によるささげ物の食物をささげなさい。それは絶えずささげる全焼のささげ物とその飲み物のささげ物に加えてささげられなければならない。

25 七日目には、あなたがたは聖なる集会を開きなさい。通常のいかなる仕事もしてはならない。

26 「『また、初穂の日、すなわち七週の祭りに主へ新しい穀物のささげ物をささげるとき、あなたがたは聖なる集会を開きなさい。通常のいかなる仕事もしてはならない。』

27 あなたがたは主への心地よい香りのための全焼のささげ物をささげなさい。若い牛二頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊七頭である。

28 それらに伴う穀物のささげ物は油を混ぜた上

質の小麦粉とし、牛一頭につき十分の三エパ、雄羊一頭につき十分の二エパ、

²⁹ 七頭の子羊のそれぞれ一頭につき十分の一エパとする。

³⁰ また、あなたがたのために贖罪を行うため、雄山羊一頭をささげなさい。

³¹ あなたがたは絶えずささげる全焼のささげ物とその穀物のささげ物に加えて、これらと、その飲み物のささげ物をささげなさい。それらはあなたがたのために傷のないものでなければならぬ。』』

29

¹ 「『第七の月の最初の日には、あなたがたは聖なる集会を開きなさい。通常のいかなる仕事もしてはならない。それはあなたがたにとってラッパを吹き鳴らす日である。』

² あなたがたは主への心地よい香りのための全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の傷のない雄の子羊七頭をささげなさい。

³ その穀物のささげ物は油を混ぜた上質の小麦粉とし、牛には十分の三エパ、雄羊には十分の二エパ、

⁴ 七頭の子羊のそれぞれ一頭には十分の一エパをささげなさい。

⁵ また、あなたがたのために贖罪を行うため、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。

⁶ これは、新月の全焼のささげ物とその穀物のささげ物、絶えずささげる全焼のささげ物とその穀物のささげ物、およびその定めに従ったそれらの飲み物のささげ物に加えてささげる、主への心地よい香りのための火によるささげ物である。

⁷ 「『この第七の月の十日には、あなたがたは聖なる集会を開きなさい。あなたがたは自

分の魂を苦しめなければならない。いかなる仕事もしてはならない。

⁸ あなたがたは主への心地よい香りのための全焼のささげ物として、若い牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊七頭をささげなさい。それらは傷のないものでなければならない。

⁹ その穀物のささげ物は油を混ぜた上質の小麦粉とし、牛には十分の三エパ、一頭の雄羊には十分の二エパ、

¹⁰ 七頭の子羊のそれぞれ一頭には十分の一エパをささげなさい。

¹¹ 贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。これは贖罪のための贖罪のささげ物、絶えずささげる全焼のささげ物とその穀物のささげ物、およびそれらの飲み物のささげ物に加えてささげるものである。

¹² 「『第七の月の十五日には、あなたがたは聖なる集会を開きなさい。通常の間いかなる仕事もしてはならない。七日間、主への祭りを守りなさい。』

¹³ あなたがたは主への心地よい香りのための火によるささげ物、全焼のささげ物をささげなさい。若い牛十三頭、雄羊二頭、一歳の雄の子羊十四頭である。それらは傷のないものでなければならない。

¹⁴ その穀物のささげ物は油を混ぜた上質の小麦粉とし、十三頭の牛のそれぞれ一頭に十分の三エパ、二頭の雄羊のそれぞれ一頭に十分の二エパ、

¹⁵ 十四頭の子羊のそれぞれ一頭に十分の一エパをささげなさい。

¹⁶ また、絶えずささげる全焼のささげ物、その穀物のささげ物、およびその飲み物のささげ物に加えて、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。

¹⁷ 「『二日目には、若い牛十二頭、雄羊二頭、一歳の傷のない雄の子羊十四頭をささげなさい。』

18 牛、雄羊、および子羊のためのその穀物のささげ物と飲み物のささげ物は、その定めに従い、その数に応じてささげなさい。

19 また、絶えずささげる全焼のささげ物とその穀物のささげ物、およびそれらの飲み物のささげ物に加えて、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。

20 「『三日目には、牛十一頭、雄羊二頭、一歳の傷のない雄の子羊十四頭をささげなさい。

21 牛、雄羊、および子羊のためのその穀物のささげ物と飲み物のささげ物は、その定めに従い、その数に応じてささげなさい。

22 また、絶えずささげる全焼のささげ物とその穀物のささげ物、およびその飲み物のささげ物に加えて、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。

23 「『四日目には、牛十頭、雄羊二頭、一歳の傷のない雄の子羊十四頭をささげなさい。

24 牛、雄羊、および子羊のためのその穀物のささげ物と飲み物のささげ物は、その定めに従い、その数に応じてささげなさい。

25 また、絶えずささげる全焼のささげ物、その穀物のささげ物、およびその飲み物のささげ物に加えて、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。

26 「『五日目には、牛九頭、雄羊二頭、一歳の傷のない雄の子羊十四頭をささげなさい。

27 牛、雄羊、および子羊のためのその穀物のささげ物と飲み物のささげ物は、その定めに従い、その数に応じてささげなさい。

28 また、絶えずささげる全焼のささげ物とその穀物のささげ物、およびその飲み物のささげ物に加えて、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。

29 「『六日目には、牛八頭、雄羊二頭、一歳の傷のない雄の子羊十四頭をささげなさい。

30 牛、雄羊、および子羊のためのその穀物のささげ物と飲み物のささげ物は、その定めに従い、その数に応じてささげなさい。

31 また、絶えずささげる全焼のささげ物、その穀物のささげ物、およびその飲み物のささげ物に加えて、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。

32 「『七日目には、牛七頭、雄羊二頭、一歳の傷のない雄の子羊十四頭をささげなさい。

33 牛、雄羊、および子羊のためのその穀物のささげ物と飲み物のささげ物は、その定めに従い、その数に応じてささげなさい。

34 また、絶えずささげる全焼のささげ物、その穀物のささげ物、およびその飲み物のささげ物に加えて、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。

35 「『八日目には、あなたがたは厳かな集会を開きなさい。通常のいかなる仕事もしてはならない。

36 あなたがたは主への心地よい香りのための火によるささげ物、全焼のささげ物をささげなさい。牛一頭、雄羊一頭、一歳の傷のない雄の子羊七頭である。

37 牛、雄羊、および子羊のためのその穀物のささげ物と飲み物のささげ物は、その定めに従い、その数に応じてささげなさい。

38 また、絶えずささげる全焼のささげ物とその穀物のささげ物、およびその飲み物のささげ物に加えて、贖罪のささげ物として雄山羊一頭をささげなさい。

39 「『あなたがたは定められた祭りに、これらのものを主にささげなさい。これはあなたがたの誓

願のささげ物や自発的なささげ物、すなわち全焼のささげ物、穀物のささげ物、飲み物のささげ物、および和解のいけにえのささげ物に加えてささげるものである。』」

⁴⁰ モーセは、主がモーセに命じられたすべてのことに従って、イスラエルの子らに告げた。

30

¹ モーセはイスラエルの子らの部族の長たちに語って言った。「これが、主が命じられたことである。

² 人が主に誓願を立てるか、自分の魂を縛る誓約の誓いを立てたなら、その言葉を破ってはならない。彼は自分の口から出たすべてのことに従って行わなければならない。

³ 「また、女が若い時に父の家において、主に誓願を立て、誓約によって自らを縛り、

⁴ その父が彼女の誓願と、彼女が自分の魂を縛った誓約を聞いても、父が彼女に何も言わないなら、彼女のすべての誓願は有効であり、彼女が自分の魂を縛ったすべての誓約も有効である。

⁵ しかし、父がそれを聞いたその日に彼女を禁じたなら、彼女の誓願や、彼女が自分の魂を縛った誓約は、いっさい有効ではない。父が彼女を禁じたので、主は彼女を赦される。

⁶ 「もし彼女が夫を持つ身でありながら、誓願を立てたり、唇で軽率に口にして自分の魂を縛ったりした場合、

⁷ 夫がそれを聞き、聞いたその日に彼女に何も言わないなら、彼女の誓願は有効であり、彼女が自分の魂を縛った誓約も有効である。

⁸ しかし、夫がそれを聞いたその日に彼女を禁じたなら、彼は彼女が立てている誓願と、彼

女が唇で軽率に口にして自分の魂を縛ったことを無効にすることができる。主は彼女を赦される。

⁹「しかし、やもめ、または離縁された女の誓願は、彼女が自分の魂を縛ったすべてのことにおいて、彼女に対して有効である。

¹⁰「もし女が夫の家で誓願を立てたり、誓いによって自分の魂を縛る誓約をしたりして、

¹¹夫がそれを聞き、黙っていて彼女を禁じなかったなら、彼女のすべての誓願は有効であり、彼女が自分の魂を縛ったすべての誓約も有効である。

¹²しかし、夫がそれを聞いたその日にそれらを完全に無効にしたなら、彼女の誓願や魂の誓約について彼女の唇から出たことはいっさい有効ではない。彼女の夫がそれらを無効にしたのである。主は彼女を赦される。

¹³すべての誓願と、魂を苦しめるためのすべての誓約の誓いは、彼女の夫がそれを有効にすることもでき、彼女の夫がそれを無効にすることもできる。

¹⁴しかし、もし夫が日を重ねても彼女に何も言わないなら、彼は彼女のすべての誓願、または彼女が立てているすべての誓約を有効にしたことになる。彼はそれを聞いたその日に彼女に何も言わなかったもので、それらを有効にしたのである。

¹⁵しかし、もし彼がそれらを聞いた後でそれらを無効にするなら、彼は彼女の咎を負わなければならない。」

¹⁶これらが、夫と妻の間、また、若い時に父の家にいる娘と父との間について、主がモーセに命じられた掟である。

31

¹主はモーセに語って言われた。

2 「ミディアン人に対して、イスラエルの子らの復讐をしなさい。その後、あなたは自分の民に加えられる。」

3 モーセは民に語って言った。「あなたがたの中から戦いのために男たちを武装させ、ミディアンに向かって行かせ、ミディアンに主の復讐を遂行させなさい。」

4 イスラエルのすべての部族から、各部族千人ずつを戦いに遣わしなさい。」

5 こうして、イスラエルの幾千の部隊の中から、各部族千人ずつ、合わせて一万二千人が戦いのために武装して差し出された。

6 モーセは彼ら、すなわち各部族の千人を戦いに遣わした。彼らは祭司エルアザルの子ピネハスとともに戦いに行き、彼の手には聖所の器具と、警告のためのラッパがあった。

7 彼らは主がモーセに命じられたとおりにミディアンと戦い、すべての男子を殺した。

8 彼らは殺された者たちとともにミディアンの王たち、すなわちエヴィ、レケム、ツル、フル、レバというミディアンの五人の王を殺した。彼らはまた、ベオルの子バラムを剣で殺した。

9 イスラエルの子らはミディアンの女たちとその幼子たちを捕虜にし、彼らのすべての家畜、すべての羊の群れ、およびすべての財産をぶんどり物として奪った。

10 彼らは、彼らが住んでいたすべての町々と、すべての宿営を火で燃やした。

11 彼らは人であれ動物であれ、すべてのぶんどり物とすべての獲物を取った。

12 彼らは捕虜、獲物、ぶんどり物を、エリコの向かい側にあるヨルダン川のほとりのモアブの平

野にある宿営のモーセと祭司エルアザル、およびイスラエルの子らの会衆のもとに持って来た。

¹³ モーセ、祭司エルアザル、および会衆のすべての指導者たちは、彼らを出迎えるために宿営の外に出た。

¹⁴ モーセは、戦いの任務から帰って来た軍隊の役人たち、すなわち千人の長たちや百人の長たちに対して怒った。

¹⁵ モーセは彼らに言った。「あなたがたは女たちをみな生かしておいたのか。

¹⁶ 見よ、これらの女たちはバラムの助言によって、ペオルの事件でイスラエルの子らが主に対して背く罪を犯す原因となり、主の会衆の間に災いが起こったではないか。

¹⁷ だから今、幼子たちのうちの男子をみな殺し、男と寝て男を知っている女をみな殺しなさい。

¹⁸ しかし、男と寝て男を知らない若い女たちはみな、あなたがたのために生かしておきなさい。

¹⁹ 「あなたがたは七日間、宿営の外に宿営しなさい。人を殺した者や、殺された者に触れた者はだれでも、三日目と七日目に自分自身と捕虜をきよめなさい。

²⁰ あなたがたはすべての衣服、すべての革製品、山羊の毛で作られたすべてのもの、およびすべての木製品をきよめなさい。」

²¹ 祭司エルアザルは、戦いに行った軍人たちに言った。「これが主がモーセに命じられた律法の掟である。

²² 金、銀、青銅、鉄、すず、鉛、

²³ 火に耐えられるものはすべて火の中を通してなければならぬ。そうすれば、それはきよくなる。それでもなお、汚れをきよめる水でそれをきよめなけ

ればならない。火に耐えられないものはすべて水の中を通さなければならない。

24 あなたがたは七日目に衣服を洗いなさい。そうすればきよくなる。その後、宿営に入ることができる。」

25 主はモーセに語って言われた。

26 「あなたと祭司エルアザル、および会衆の父の家の頭たちは、奪い取られたぶんどり物のうち、人も動物もその総数を数えなさい。

27 そして、そのぶんどり物を、戦いに出た、戦いに熟練した者たちと、全会衆との間で二等分しなさい。

28 戦いに出た軍人たちからは、主への貢ぎ物を徴収しなさい。すなわち、人、牛、ろば、羊の群れのうち、五百につき一つの魂である。

29 彼らの半分からそれを取り、主への揺り動かささげ物として祭司エルアザルに与えなさい。

30 イスラエルの子らの半分からは、人、牛、ろば、羊の群れ、すべての家畜のうちから五十につき一つを取り出し、主の幕屋の任務を果たすレビ人に与えなさい。」

31 モーセと祭司エルアザルは、主がモーセに命じられたとおりに行った。

32 軍人たちが奪った獲物の残りのぶんどり物は、羊六十七万五千頭、

33 牛七万二千頭、

34 ろば六万一千頭、

35 および、男と寝て男を知らない女の人合わせて三万二千人であった。

36 その半分、すなわち戦いに出た者たちの割り当ては、羊三十三万七千五百頭であった。

37 その羊からの主への貢ぎ物は六百七十五頭であった。

38 牛は三万六千頭であり、その中からの主への貢ぎ物は七十二頭であつた。

39 ろばは三万五百頭であり、その中からの主への貢ぎ物は六十一頭であつた。

40 人は一万六千人であり、その中からの主への貢ぎ物は三十二人であつた。

41 モーセは主が彼に命じられたとおりに、主への揺り動かすささげ物であるその貢ぎ物を祭司エルアザルに与えた。

42 モーセが戦った男たちから分けた、イスラエルの子らの半分については、

43 (会衆の半分は、羊三十三万七千五百頭、

44 牛三万六千頭、

45 ろば三万五百頭、

46 および人一万六千人であつた。)

47 モーセはそのイスラエルの子らの半分から、人であれ動物であれ、五十につき一つを取り出し、主がモーセに命じられたとおりに、主の幕屋の任務を果たすレビ人に与えた。

48 軍隊の千人の部隊を指揮する役人たち、すなわち千人の長たちや百人の長たちがモーセに近づいた。

49 彼らはモーセに言った。「あなたのしもべたちは、私たちの指揮下にある軍人たちの総数を調べましたが、私たちの中から一人も欠けていません。

50 私たちは主へのささげ物として、それぞれが見つけた金の装飾品、すなわち腕輪、腕飾り、印章指輪、耳輪、首飾りを持って来ました。主の前で私たちの魂のために贖罪を行うためです。」

51 モーセと祭司エルアザルは、彼らから金、すなわちすべての細工物を受け取った。

⁵² 千人の長たちや百人の長たちが主にささげた揺り動かすささげ物の金の総額は、一万六千七百五十シェケル*であった。

⁵³ 軍人たちはめいめい自分のために獲物を奪っていた。

⁵⁴ モーセと祭司エルアザルは千人の長たちや百人の長たちから金を受け取り、イスラエルの子らのための主の前での記念として、それを会見の天幕に持って行った。

32

¹ さて、ルベンの子らとガドの子らは、非常に多くの家畜の群れを持っていた。彼らがヤゼルの地とギルアデの地を見ると、見よ、その場所は家畜に適した場所であった。

² そこでガドの子らとルベンの子らは来て、モーセと祭司エルアザル、および会衆の指導者たちに語って言った。

³ 「アタロト、ディボン、ヤゼル、ニムラ、ヘシユボン、エルアレ、セバム、ネボ、ベオン、

⁴ すなわち主がイスラエルの会衆の前で打たれた地は、家畜に適した地です。そして、あなたのしもべたちは家畜を持っています。」

⁵ 彼らは言った。「もし私たちがあなたの目の前で恵みを見出しているなら、この地をあなたのしもべたちの所有地として与えてください。私たちをヨルダン川の向こうへ渡らせないでください。」

⁶ モーセはガドの子らとルベンの子らに言った。「あなたがたの兄弟たちが戦いに行くのに、あなたがたはここに座っているつもりか。

* 31:52 31:52 一シェケルは約10グラム、または約0.35オンスなので、16,750シェケルは

7 なぜあなたがたは、主が彼らに与えられた地へ渡って行こうとするイスラエルの子らの心をくじくのか。

8 私がその地を見るためにカデシュ・バルネアから彼らを遣わしたとき、あなたがたの父祖たちもそうした。

9 彼らがエシュコルの谷に上って行き、その地を見たとき、彼らはイスラエルの子らの心をくじき、主が彼らに与えられた地へ行かないようにさせた。

10 その日、主の怒りが燃え上がり、誓って言われた。

11 『エジプトから上って来た者たちのうち、二十歳以上の者はだれも、わたしがアブラハム、イサク、ヤコブに誓った地を見ることはない。彼らがわたしに完全に従わなかったからである。

12 ただし、ケナズ人エフネの子カレブと、ヌンの子ヨシュアは例外である。彼らは主に完全に従ったからである。』

13 主の怒りがイスラエルに向かって燃え上がり、主の前で悪を行ったその世代のすべての者が滅び去るまで、彼らを四十年間、荒野でさまよわせた。

14 「見よ、あなたがたは父祖たちに代わって、罪ある人々の増し加わりとして立ち上がり、イスラエルに対する主の激しい怒りをさらに増し加えようとしている。

15 もしあなたがたが主に従うことから顔を背けるなら、主はさらにこの民を荒野に見捨てられる。そして、あなたがたはこのすべての民を滅ぼすことになるのだ。」

16 彼らはモーセに近づいて言った。「私たちはここに家畜のために羊の囲いを建て、幼子たちのために町々を建てます。

17 しかし私たち自身は武装し、イスラエルの子らを彼らの場所に導き入れるまで、彼らの先頭に立って行きます。私たちの幼子たちは、この地の住民を避けるために城壁のある町々に住みます。

18 イスラエルの子らが皆、それぞれ自分の所有地を受け継ぐまで、私たちは自分の家に帰りません。

19 私たちの所有地が、このヨルダン川のこちら側、すなわち東側で与えられたので、私たちは彼らとともにヨルダン川の向こう側やさらに先で所有地を受け継ぐことはしません。」

20 モーセは彼らに言った。「もしあなたがたがこのことを行い、主の前で戦いのために武装し、

21 あなたがたの武装した者が皆、主が御前から敵を追い出されるまで、主の前でヨルダン川を渡り、

22 その地が主の前で征服されるなら、その後あなたがたは帰り、主に対してもイスラエルに対しても義務を免れる。そしてこの地は、主の前であなたがたの所有地となる。

23 「しかし、もしあなたがたがそのようにしないなら、見よ、あなたがたは主に対して罪を犯したことになり、あなたがたの罪が必ずあなたがたを見つけて出すことを知れ。

24 幼子たちのために町々を建て、羊のために囲いを建てなさい。そして、あなたがたの口から出たことを実行しなさい。」

25 ガドの子らとルベンの子らはモーセに語って言った。「あなたのしもべたちは、わが主が命じられるとおりに行います。

26 私たちの幼子たち、妻たち、群れ、そしてすべての家畜は、そこのギルアデの町々にとどまります。

27 しかしあなたのしもべたち、すなわち戦いのために武装したすべての者は、わが主が言われるように、主の前で戦いのために渡って行きます。」

28 そこでモーセは、彼らのことについて、祭司エルアザルと、ヌンの子ヨシュアと、イスラエルの子らの部族の父の家の頭たちに命じた。

29 モーセは彼らに言った。「もしガドの子らとルベンの子らのうち、戦いのために武装したすべての男が、主の前であなたがたとともにヨルダン川を渡し、その地があなたがたの前で征服されたなら、あなたがたは彼らにギルアデの地を所有地として与えなさい。

30 しかし、もし彼らが武装してあなたがたとともに渡らないなら、彼らはカナンの地であなたがたの間に所有地を持たなければならない。」

31 ガドの子らとルベンの子らは答えて言った。「主があなたのしもべたちに言われたとおりに、私たちは行きます。

32 私たちは武装して主の前でカナンの地に渡って行きますが、私たちの受け継ぐ所有地はヨルダン川のこちら側にとどまります。」

33 モーセは彼ら、すなわちガドの子らとルベンの子ら、およびヨセフの子マナセの半部族に、アモリ人の王シホンの王国とバシヤンの王オグの王国、すなわちその境界の町々を含むその地、および周辺の地の町々を与えた。

34 ガドの子らはディボン、アタロト、アロエル、

35 アトロテ・ショファン、ヤゼル、ヨグボハ、

36 ベテ・ニムラ、ベテ・ハランを城壁のある町として建て、羊のための囲いを建てた。

37 ルベンの子らはヘシュボン、エルアレ、キルヤタイム、

38 ネボ、バアル・メオン（これらの名は変更された）、およびシブマを建てた。彼らは自分たちが建てた町々に別の名を与えた。

39 マナセの子マキルの子らはギルアデに行つてこれを取り、そこにいたアモリ人を追い出した。

40 モーセはギルアデをマナセの子マキルに与えた。彼はそこに住んだ。

41 マナセの子ヤイルは行つてその村々を取り、それらをハボテ・ヤイルと呼んだ。

42 ノバは行つてケナテとその村々を取り、自分の名にちなんでそれをノバと呼んだ。

33

1 モーセとアロンの指導のもとで、その部隊ごとにエジプトの地から出たイスラエルの人々の旅の記録は次のとおりである。

2 モーセは主の命令によつて、彼らの旅の出発地を書き記した。その出発地による彼らの旅の記録は次のとおりである。

3 彼らは第一の月の十五日にラメセスを旅立つた。過越の祭りの翌日、イスラエルの人々はすべてのエジプト人の目の前で、意気揚々と出て行つた。

4 そのとき、エジプト人たちは、主が彼らの間で打ち殺されたすべての長子を葬っていた。主はまた、彼らの神々に裁きを下された。

5 イスラエルの人々はラメセスを旅立ち、スコテに宿営した。

6 彼らはスコテを旅立ち、荒野の端にあるエタムに宿営した。

7 彼らはエタムを旅立ち、バアル・ツェフオンの前にあるピ・ハヒロトに引き返し、ミグドルの前に宿営した。

⁸ 彼らはハヒロトの前を旅立ち、海の中を通して荒野へ出た。そしてエタムの荒野を三日間の道のりで進み、マラに宿営した。

⁹ 彼らはマラを旅立ち、エリムに着いた。エリムには十二の水の泉と七十本のなつめやしの木があり、彼らはそこに宿営した。

¹⁰ 彼らはエリムを旅立ち、紅海のほとりに宿営した。

¹¹ 彼らは紅海を旅立ち、シンの荒野に宿営した。

¹² 彼らはシンの荒野を旅立ち、ドフカに宿営した。

¹³ 彼らはドフカを旅立ち、アルシュに宿営した。

¹⁴ 彼らはアルシュを旅立ち、レフィディムに宿営したが、そこには民が飲むための水がなかった。

¹⁵ 彼らはレフィディムを旅立ち、シナイの荒野に宿営した。

¹⁶ 彼らはシナイの荒野を旅立ち、キブロット・ハタアワに宿営した。

¹⁷ 彼らはキブロット・ハタアワを旅立ち、ハツエロトに宿営した。

¹⁸ 彼らはハツエロトを旅立ち、リトマに宿営した。

¹⁹ 彼らはリトマを旅立ち、リモン・ペレッツに宿営した。

²⁰ 彼らはリモン・ペレッツを旅立ち、リブナに宿営した。

²¹ 彼らはリブナを旅立ち、リサに宿営した。

²² 彼らはリサを旅立ち、ケヘラタに宿営した。

²³ 彼らはケヘラタを旅立ち、シェフェル山に宿営した。

²⁴ 彼らはシェフェル山を旅立ち、ハラダに宿営した。

²⁵ 彼らはハラダを旅立ち、マクヘロトに宿営した。

- 26 彼らはマクヘロトを旅立ち、タハトに宿営した。
- 27 彼らはタハトを旅立ち、テラに宿営した。
- 28 彼らはテラを旅立ち、ミトカに宿営した。
- 29 彼らはミトカを旅立ち、ハシュモナに宿営した。
- 30 彼らはハシュモナを旅立ち、モセロトに宿営した。
- 31 彼らはモセロトを旅立ち、ベネ・ヤアカンに宿営した。
- 32 彼らはベネ・ヤアカンを旅立ち、ホル・ハギデガドに宿営した。
- 33 彼らはホル・ハギデガドを旅立ち、ヨトバタに宿営した。
- 34 彼らはヨトバタを旅立ち、アブロナに宿営した。
- 35 彼らはアブロナを旅立ち、エツヨン・ゲベルに宿営した。
- 36 彼らはエツヨン・ゲベルを旅立ち、ツインの荒野、すなわちカデシュに宿営した。
- 37 彼らはカデシュを旅立ち、エドムの地の端にあるホル山に宿営した。
- 38 祭司アロンは主の命令によってホル山に登り、そこで死んだ。それはイスラエルの人々がエジプトの地から出た後の第四十年目の、第五の月の最初の日のことであつた。
- 39 アロンがホル山で死んだとき、彼は百二十三歳であつた。
- 40 カナンの地のネゲブ*に住んでいたカナン人であるアラドの王は、イスラエルの人々が来るのを聞いた。
- 41 彼らはホル山を旅立ち、ツアルモナに宿営した。

* 33:40 33:40 または、南。

42 彼らはツアルモナを旅立ち、プノンに宿営した。

43 彼らはプノンを旅立ち、オボテに宿営した。

44 彼らはオボテを旅立ち、モアブの境界にあるイエ・アバリムに宿営した。

45 彼らはイイムを旅立ち、ディボン・ガドに宿営した。

46 彼らはディボン・ガドを旅立ち、アルモン・ディブラタイムに宿営した。

47 彼らはアルモン・ディブラタイムを旅立ち、ネボの前にあるアバリムの山々に宿営した。

48 彼らはアバリムの山々を旅立ち、エリコの向かい側にあるヨルダン川のほとりのモアブの平野に宿営した。

49 彼らはモアブの平野にあるベテ・エシモトからアベル・シティムに至るまでの、ヨルダン川のほとりに宿営した。

50 主はエリコの向かい側にあるヨルダン川のほとりのモアブの平野で、モーセに告げて言われた。

51 「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『あなたがたがヨルダン川を渡ってカナンの地に入るとき、

52 あなたがたの前からその地のすべての住民を追い出し、彼らの石の偶像をすべて打ち砕き、彼らの鑄造した偶像をすべて打ち砕き、彼らのすべての高き所を破壊しなければならない。

53 あなたがたはその地を占領し、そこに住みなさい。わたしがその地を所有地としてあなたがたに与えたからである。

54 あなたがたは氏族ごとにくじによってその地を所有地として受け継がなければならない。人数の多い者にはその所有地を多く与え、人数の少ない者にはその所有地を少なく与えなければならない

い。くじが当たった場所¹は、だれのものであれ、その人のものとなる。あなたがたは父祖の部族に従って受け継がなければならない。

⁵⁵ しかし、もしあなたがたがその地の住民をあなたがたの前から追い出さないなら、あなたがたが残しておいた者たちは、あなたがたの目のとげとなり、脇腹のいばらとなって、あなたがたが住むその地であなたがたを苦しめることになる。

⁵⁶ そして、わたしが彼らに行おうと考えていたことを、あなたがたに行う。』』

34

¹ 主はモーセに告げて言われた。

² 「イスラエルの人々に命じて、彼らに言いなさい。『あなたがたがカナンの地に入るとき（これは所有地としてあなたがたに割り当てられる地、すなわちその境界に基づくカナンの地である）、

³ あなたがたの南の地方は、エドムの側面に沿ったツインの荒野から始まり、あなたがたの南の境界は、塩の海の東の端から始まる。

⁴ あなたがたの境界は、アクラビムの坂の南に回り込み、ツインを通り過ぎる。その行く先はカデシュ・バルネアの南となる。そこからハツアル・アダルに出て、アツモンを通り過ぎる。

⁵ 境界はアツモンからエジプトの川に回り込み、その行く先は海となる。

⁶ 『西の境界については、あなたがたは大海とその境界を持つ。これがあなたがたの西の境界となる。

⁷ 『これがあなたがたの北の境界となる。大海からホル山までをあなたがたのために線を引かなければならない。

8 ホル山からハマトの入り口まで線を引かなければならない。その境界の行く先はツェダデとなる。

9 境界はツイフロンに出る。その行く先はハツアル・エナンとなる。これがあなたがたの北の境界となる。

10 『あなたがたの東の境界は、ハツアル・エナンからシェファムまで線を引かなければならない。

11 境界はシェファムからアインの東側にあるリブラに下る。境界はさらに下り、東のキネレテの海の側面に達する。

12 境界はヨルダン川に下り、その行く先は塩の海となる。これが、その周囲の境界に従った、あなたがたの地となる。』

13 モーセはイスラエルの人々に命じて言った。「これはあなたがたがくじによって所有地として受け継ぐ地であり、主が九つの部族と半部族に与えるように命じられた地である。

14 ルベンの子らの部族は彼らの父の家ごとに受け取り、ガドの子らの部族も彼らの父の家ごとに受け取り、マナセの半部族も彼らの所有地を受け取ったからである。

15 この二つの部族と半部族は、エリコの向かい側にあるヨルダン川の東側、日の出る方角で、すでに彼らの所有地を受け取っている。」

16 主はモーセに告げて言われた。

17 「所有地としてあなたがたのためにその地を分ける者たちの名は次のとおりである。祭司エルアザルと、ヌンの子ヨシュアである。

18 あなたがたは所有地としてその地を分けるために、各部族から一人の指導者を取りなさい。

19 その男たちの名は次のとおりである。ユダの部族からは、エフネの子カレブ。

20 シメオンの子らの部族からは、アミフデの子シエムエル。

21 ベニヤミンの部族からは、キスロンの子エリダデ。

22 ダンの子らの部族の指導者として、ヨグリの子ブキ。

23 ヨセフの子らのうち、マナセの子らの部族の指導者として、エフォデの子ハニエル。

24 エフライムの子らの部族の指導者として、シフトンの子ケムエル。

25 ゼブルンの子らの部族の指導者として、パルナクの子エリツアファン。

26 イッサカルの子らの部族の指導者として、アザンの子パルティエル。

27 アシエルの子らの部族の指導者として、シェロミの子アヒフデ。

28 ナフタリの子らの部族の指導者として、アミフデの子ペダヘル。」

29 これらが、カナンの地でイスラエルの人々に所有地を分けるように主が命じられた者たちである。

35

1 主はエリコの向かい側にあるヨルダン川のほとりのモアブの平野でモーセに告げて言われた。

2 「イスラエルの人々に命じて、彼らが受け継ぐ所有地からレビ人に住むための町々を与えさせなさい。またあなたがたは、それらの町々の周囲の放牧地をレビ人に与えなければならぬ。

3 彼らは住むための町々を持ち、その放牧地は彼らの家畜のため、彼らの財産のため、また彼らのすべての動物のためのものとなる。

4 「あなたがたがレビ人に与える町々の放牧地は、町の城壁から外側に向かって周囲一千キュビトとしなければならない。

5 あなたがたは町を真ん中にして、町の外側の東側に二千キュビト、南側に二千キュビト、西側に二千キュビト、北側に二千キュビトを測らなければならない。これが彼らにとって町々の放牧地となる。

6 「あなたがたがレビ人に与える町々のうち、人を殺した者が逃れるための六つの逃れの町を与えなければならない。それに加えて、四十二の町を与えなければならない。

7 あなたがたがレビ人に与えるすべての町は四十八の町となり、それらを放牧地とともに与えなければならない。

8 あなたがたがイスラエルの人々の所有地から与える町々については、人数の多い部族からは多く取り、人数の少ない部族からは少なく取らなければならない。各部族は、自分が受け継ぐ所有地に応じて、その町々の一部をレビ人に与えなければならない。」

9 主はモーセに告げて言われた。

10 「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『あなたがたがヨルダン川を渡ってカナンの地に入るとき、

11 あなたがたのために逃れの町となる町々を定めなさい。無意識のうちに人を殺した者がそこに逃れるためである。

12 それらの町は、人を殺した者が復讐する者の手から逃れるための避難所となる。それは、人を殺した者が裁きのために会衆の前に立つ前に死ぬことがないためである。

13 あなたがたが与える町々は、あなたがたのための六つの逃れの町となる。

14 あなたがたはヨルダン川の向こう側に三つの町を与え、カナンの地に三つの町を与えなければならない。これらは逃れの町となる。

15 イスラエルの人々にとって、また彼らの間に住む寄留者や外国人にとって、これら六つの町は逃れの町となる。無意識のうちに人を殺した者が皆、そこに逃れるためである。

16 『しかし、もし彼が鉄の道具で人を打ち、その人が死んだなら、彼は殺人者である。殺人者は必ず死刑に処されなければならない。』

17 もし彼が、人が死ぬような石を手にとって人を打ち、その人が死んだなら、彼は殺人者である。殺人者は必ず死刑に処されなければならない。

18 あるいは彼が、人が死ぬような木の武器を手にとって人を打ち、その人が死んだなら、彼は殺人者である。殺人者は必ず死刑に処されなければならない。

19 血の復讐をする者自身がその殺人者を死刑に処す。彼に出会ったときに、彼を死刑に処するのである。

20 もし彼が憎しみから人を突き飛ばすか、あるいは待ち伏せして物を投げつけ、その人が死んだなら、

21 あるいは悪意から手で人を打ち、その人が死んだなら、打った者は必ず死刑に処されなければならない。彼は殺人者である。血の復讐をする者は、その殺人者に出会ったときに、彼を死刑に処す。

22 『しかし、もし彼が悪意なく突然人を突き飛ばすか、待ち伏せせずに何かを投げつけるか、

23 あるいは人が死ぬようなどんな石であっても、見ていないのにその人の上に落とし、その人が死んだ場合で、彼がその人の敵ではなく、危害を加えようとしていたのでもないなら、

24 会衆はこれらの掟に従って、打ち殺した者と血の復讐をする者との間を裁かなければならない。

25 会衆は人を殺した者を血の復讐をする者の手から救い出し、会衆は彼が逃げ込んだ逃れの町に彼を戻さなければならない。彼は聖なる油を注がれた大祭司が死ぬまで、そこに住まなければならない。

26 しかし、もし人を殺した者が、逃げ込んだ逃れの町の境界を少しでも越え、

27 血の復讐をする者が逃れの町の境界の外で彼を見つけ、血の復讐をする者がその人を殺した者を殺しても、彼に血を流した罪はない。

28 人を殺した者は、大祭司が死ぬまで逃れの町にとどまらなければならなかったからである。しかし、大祭司が死んだ後は、人を殺した者は自分の所有地に戻るができる。

29 『これらのことは、あなたがたのすべての住まいで、代々にわたっての律法の定めとなる。

30 『人を殺した者については、証人たちの証言によって殺人者を死刑に処さなければならない。しかし、一人の証人だけでは、だれをも死刑に処す証言とはならない。

31 また、死刑に当たる有罪の殺人者の命の身代金を受け取ってはならない。彼は必ず死刑に処されなければならない。

32 また、逃れの町に逃げ込んだ者のために身代金を受け取り、祭司が死ぬ前に彼が再びその地に住むために戻ることを許してはならない。

33 『このようにして、あなたがたは自分たちのいる地を汚してはならない。血はその地を汚すからである。その地で流された血について、その地のため

に贖罪を行うことはできない。ただ、それを流した者の血による以外にはない。

³⁴ あなたがたが住む地、わたしが住む地を汚してはならない。わたしはイスラエルの人々の間に住む主だからである。』」

36

¹ ヨセフの子らの氏族のうち、マナセの子マキルの子ギルアデの子らの氏族の、父の家々の頭たちが近づいて来て、モーセと、イスラエルの人々の父の家々の頭である指導者たちの前で語った。

² 彼らは言った。「主はわが主に、イスラエルの人々にくじによってその地を所有地として与えるように命じられました。そしてわが主は主から、私たちの兄弟ゼロフェハデの所有地をその娘たちに与えるように命じられました。

³ もし彼女たちがイスラエルの人々の他の部族の息子たちのうちのだれかと結婚すれば、彼女たちの所有地は私たちの父祖たちの所有地から取り去られ、彼女たちが属する部族の所有地に加えられます。このようにして、それは私たちの所有地のくじから取り去られるのです。

⁴ イスラエルの人々のヨベルの年が来ても、彼女たちの所有地は彼女たちが属する部族の所有地に加えられます。このようにして、彼女たちの所有地は私たちの父祖の部族の所有地から取り去られるのです。」

⁵ モーセは主の言葉に従ってイスラエルの人々に命じて言った。「ヨセフの子らの部族の言うことは正しい。

⁶ ゼロフェハデの娘たちについて、主が命じられることは次のとおりである。『彼女たちは自分たちが最も良いと思う者と結婚してよい。ただし、彼

女たちの父の部族の氏族とだけ結婚しなければならない。

⁷ イスラエルの人々の所有地が、部族から部族へと移ってはならない。イスラエルの人々は皆、自分の父祖の部族の所有地を保たなければならないからである。

⁸ イスラエルの人々のどの部族においても、所有地を持つ娘は皆、自分の父の部族の氏族の一人の妻とならなければならない。イスラエルの人々がそれぞれ自分の父祖の所有地を受け継ぐためである。

⁹ 所有地が、ある部族から他の部族へと移ってはならない。イスラエルの人々の部族は、それぞれ自分の所有地を保たなければならないからである。』』

¹⁰ 主がモーセに命じられたとおりに、ゼロフェハデの娘たちは行った。

¹¹ ゼロフェハデの娘たちであるマフラ、ティルツァ、ホグラ、ミルカ、ノアは、彼女たちの父の兄弟たちの息子たちと結婚した。

¹² 彼女たちはヨセフの子マナセの子らの氏族に嫁ぎ、彼女たちの所有地は彼女たちの父の氏族の部族にとどまった。

¹³ これらが、エリコの向かい側にあるヨルダン川のほとりのモアブの平野で、主がモーセを通してイスラエルの人々に命じられた命令と掟である。

フリーダム・バイブル
**The Holy Bible in the Japanese Language, Freedom
Bible translation**

Public Domain

Language: 日本語 (Japanese)

この聖書翻訳には著作権が設定されていません。この聖書翻訳の公式な配布元は eBible.org です。これは翻訳の草案です。この聖書翻訳をより良いものにするため、改善のご提案を ebible.org+jpnm@gmail.com までお寄せください。

2026-07-08

PDF generated using Haiola and XeLaTeX on 8 Jul 2026 from source files dated 8 Jul 2026

8daadcbf-1b7a-51a2-98ce-7e95a9e95424